

予算科目	2 款	総務費	事業名		市政功労者表彰																									
	1 項	総務管理費	総合計画	第 章																										
	1 目	一般管理費		第 節																										
	事業	功労者表彰・礼遇者関係費		()																										
担当部課		総務部秘書広報課	実施計画掲載ページ																											
目的及び事業内容		市の行政、経済、文化、社会その他各般にわたって市政の振興に寄与し、又は市民の模範と認められる善行があった個人・団体を表彰し、その功績を讃える。 ・市政功労表彰候補者の推薦依頼 ・推薦委員会及び審査委員会の開催 ・表彰式の開催																												
取 組 実 績		1 市政功労表彰候補者の推薦依頼 市報・ホームページによる市民への周知及び各課への通知により、市政の発展に功績のある方の推薦を依頼し、136名・2団体の推薦があった。 2 推薦委員会及び審査委員会の開催 市政功労表彰候補者として推薦された方々を、市民の方々と構成する推薦委員会及び部長等の市職員で構成する審査委員会で審査し、120名・2団体の市政功労者を決定した。 3 表彰式の開催 (1) 市政功労者として決定された方々に表彰状及び記念品を授与するため、表彰式を開催した。 日 時：令和5年11月12日（日） 午後2時から 場 所：マルホンまきあーとテラス 大ホール 出席者数：個人61名・1団体1名 (2) 表彰式及び受賞者を、市報・地元新聞で周知した。																												
成 果		市政のために尽力された方々を表彰し、その功績を讃え、広く市民に知らせることにより、受賞者のさらなる活躍が期待できるとともに、市民の市政への参加意識の高揚に寄与することができた。 令和5年度から石巻市表彰に関する条例施行規則を改正し、これまでの一度きりの表彰から、異なる分野における功績に対して、表彰できることとした。 <table><tr><td>年度別取組実績</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>市政功労者推薦者数</td><td>129名</td><td>120名</td><td>81名</td><td>110名</td><td>138名</td></tr><tr><td>市政功労者決定者数</td><td>110名</td><td>104名</td><td>65名</td><td>92名</td><td>122名</td></tr><tr><td>表彰式出席者数</td><td>60名</td><td>46名</td><td>38名</td><td>48名</td><td>62名</td></tr></table>					年度別取組実績	R1	R2	R3	R4	R5	市政功労者推薦者数	129名	120名	81名	110名	138名	市政功労者決定者数	110名	104名	65名	92名	122名	表彰式出席者数	60名	46名	38名	48名	62名
年度別取組実績	R1	R2	R3	R4	R5																									
市政功労者推薦者数	129名	120名	81名	110名	138名																									
市政功労者決定者数	110名	104名	65名	92名	122名																									
表彰式出席者数	60名	46名	38名	48名	62名																									
成果に係る評価		受賞者に対し、その功績を讃えることにより、市政の振興と市政への参加意識の高揚が期待できることから、今後も継続して実施する必要がある。 候補者の推薦にあたっては、様々な分野において候補者の掘り起こしを図るため、引き続き市報やホームページでの周知、庁内各課への通知をしていく必要がある。 なお、再表彰を可能としたことで被表彰者数の増加につながったほか、市民の市政への関心を高めることができた。																												
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	548,647	503,331				503,331																								

予算科目	2 款	総務費	事業名		広聴事業																																																																																																		
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち																																																																																																		
	1 目	一般管理費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進																																																																																																		
	事業	広聴事業関係費		(1)	多様な市民ニーズの把握に努める																																																																																																		
担当部課		総務部秘書広報課		実施計画掲載ページ		P 105																																																																																																	
目的及び事業内容		市民からの意見・提案等を市政に反映するため、市政提案、陳情・要望及び苦情の受け付け、パブリックコメント、市政教室、まちづくり懇談会、動く市長室、市民意識調査等の広聴事業を実施し、市民と一体となったまちづくりを進める。																																																																																																					
取 組 実 績		広聴事業を以下のとおり実施した。 1 市政提案、陳情・要望、苦情 2 パブリックコメント・・・9件の計画に対する意見募集 3 市政教室・・・2回実施、参加者数39人 4 まちづくり懇談会・・・2回実施 5 動く市長室・意見交換会・市長室開放デー・・・12回実施 6 市民意識調査・・・無作為抽出した2,700人へ調査を実施 調査内容 (1) 市民満足度 (2) 市政への関心 (3) S D G s (4) 石巻市での居住 (5) 男女共同参画社会 (6) 町内会・自治会活動への参加 (7) スポーツ (8) 環境 (9) 地域福祉																																																																																																					
成 果		市民からの市政提案、陳情・要望及び苦情については、市の窓口として取りまとめを行い、関係各課と情報共有を図り、市の考え方や対応方法を担当課または市長から市民へ伝えたことにより、市民が市政をより身近なものに感じ、また、市政への関心を高めることができた。 パブリックコメントについては、市の計画に対する意見を募集し、各計画策定の参考とした。 市政教室については、親子市政教室として開催し、復興状況や市の新たな施設等を見学することにより、市政への理解及び関心を高めることができた。 まちづくり懇談会、動く市長室、意見交換会、市長室開放デーについては、市民から直接意見や要望を聴くことができた。ただし、田代島地区の意見交換会については、悪天候により中止した。 市民意識調査については、回答を分析し、今後の市政運営の指標として反映することができた。 <table><tr><td colspan="2">●市政提案</td><td colspan="2">●陳情・要望</td><td colspan="2">●苦情</td><td colspan="2">●パブリックコメント</td></tr><tr><td>件数</td><td>件数</td><td>件数</td><td>件数</td><td>件数</td><td>件数</td><td>計画</td><td>意見件数</td></tr><tr><td>52件</td><td>46件</td><td>135件</td><td></td><td></td><td></td><td>9件</td><td>36件</td></tr><tr><td colspan="2">●市政教室</td><td colspan="2">●市民意識調査</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>実施回数</td><td colspan="3">参加者数</td><td>調査</td><td>調査対象者</td><td>回収数</td><td>回収率</td></tr><tr><td>2回</td><td colspan="3">39人（保護者16人、子23人）</td><td>9項目</td><td>2,700人</td><td>917件</td><td>34.0%</td></tr><tr><td colspan="8">●市民等との懇談会参加者数（活動指標）</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="2">R5実績</td><td>懇談会</td><td>動く市長室</td><td>意見交換会</td><td>市長室</td><td>達成率</td></tr><tr><td>150人</td><td colspan="2">269人</td><td>36人</td><td>158人</td><td>72人</td><td>3人</td><td>179.3%</td></tr><tr><td colspan="8">●市民等との懇談会参加者の市政への関心度（成果指標）</td></tr><tr><td>R5目標値</td><td>R5実績</td><td colspan="6">達成率</td></tr><tr><td>75.0%</td><td>83.1%</td><td colspan="6">110.8%</td></tr></table>						●市政提案		●陳情・要望		●苦情		●パブリックコメント		件数	件数	件数	件数	件数	件数	計画	意見件数	52件	46件	135件				9件	36件	●市政教室		●市民意識調査						実施回数	参加者数			調査	調査対象者	回収数	回収率	2回	39人（保護者16人、子23人）			9項目	2,700人	917件	34.0%	●市民等との懇談会参加者数（活動指標）								目標値	R5実績		懇談会	動く市長室	意見交換会	市長室	達成率	150人	269人		36人	158人	72人	3人	179.3%	●市民等との懇談会参加者の市政への関心度（成果指標）								R5目標値	R5実績	達成率						75.0%	83.1%	110.8%					
●市政提案		●陳情・要望		●苦情		●パブリックコメント																																																																																																	
件数	件数	件数	件数	件数	件数	計画	意見件数																																																																																																
52件	46件	135件				9件	36件																																																																																																
●市政教室		●市民意識調査																																																																																																					
実施回数	参加者数			調査	調査対象者	回収数	回収率																																																																																																
2回	39人（保護者16人、子23人）			9項目	2,700人	917件	34.0%																																																																																																
●市民等との懇談会参加者数（活動指標）																																																																																																							
目標値	R5実績		懇談会	動く市長室	意見交換会	市長室	達成率																																																																																																
150人	269人		36人	158人	72人	3人	179.3%																																																																																																
●市民等との懇談会参加者の市政への関心度（成果指標）																																																																																																							
R5目標値	R5実績	達成率																																																																																																					
75.0%	83.1%	110.8%																																																																																																					
成果に係る評価		令和5年度は、総合支所や網地島での動く市長室を開催したほか、支所での市長との意見交換会の開催により、市民から直接意見や提案ができる場を創出することができた。 広聴事業の実施により、市民が市政をより身近に感じることはできたほか、意見交換で出された課題については関係課と連携し、解決に向けて取り組むことにより市民サービスの向上が図られており、今後も継続して実施する必要がある。 また、市民意識調査については、紙による回答の他にインターネットによる回答も導入したが、回答者数が依然として少ないことから、調査内容及び調査対象者数の検討を行う必要がある。 市政教室については、親子を対象に開催し、将来を担う子ども達に本市の復興を見てもらうことができた。																																																																																																					
(単位：円)																																																																																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																	
	2,157,792	2,007,280				2,007,280																																																																																																	

予算科目	2 款	総務費	事業名		情報公開・個人情報保護事業																																								
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち																																								
	1 目	一般管理費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進																																								
	事業	情報公開推進費		(3)	情報公開等による透明性の確保を推進する																																								
担当部課		総務部総務課	実施計画掲載ページ		－																																								
目的及び事業内容		1 情報公開 市民の市政について知る権利を保障するとともに、情報の一層の公開を図る。 2 個人情報保護 本市の保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める権利を明らかにするとともに、個人情報の適正な取扱いを確保する。 3 審査会 開示決定等に対し審査請求があった場合は、第三者機関である審査会が公平な立場から調査審議し、開示請求者の権利救済を図るとともに、情報公開・個人情報保護制度の運用に関する重要事項について調査審議し、制度の充実・改善を図る。																																											
取 組 実 績		1 開示請求の決定状況 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">開示請求件数</th><th colspan="6">請求に対する決定等</th></tr><tr><th>開示</th><th>一部開示</th><th>不開示</th><th>不存在</th><th>その他</th><th>取下</th></tr><tr><td>情報公開</td><td>159件</td><td>44件</td><td>103件</td><td>0件</td><td>6件</td><td>0件</td><td>6件</td></tr><tr><td>個人情報</td><td>26件</td><td>12件</td><td>7件</td><td>1件</td><td>5件</td><td>0件</td><td>1件</td></tr></table> 2 審査請求の状況 0件 3 情報公開・個人情報保護審査会の開催状況 令和5年度においては、石巻市情報公開・個人情報保護審査会運営規程の一部改正等について審議、石巻市保有個人情報等取扱規程の全部改正について意見を聴くために1回開催した。 4 情報公開コーナーの利用状況 <table><tr><th rowspan="2">利用件数</th><th colspan="2">利用件数の内訳</th></tr><tr><th>行政資料等の閲覧（うち行政資料等の複写）</th><th>その他相談等</th></tr><tr><td>694件</td><td>568件</td><td>(504件) 126件</td></tr></table>						開示請求件数		請求に対する決定等						開示	一部開示	不開示	不存在	その他	取下	情報公開	159件	44件	103件	0件	6件	0件	6件	個人情報	26件	12件	7件	1件	5件	0件	1件	利用件数	利用件数の内訳		行政資料等の閲覧（うち行政資料等の複写）	その他相談等	694件	568件	(504件) 126件
開示請求件数		請求に対する決定等																																											
		開示	一部開示	不開示	不存在	その他	取下																																						
情報公開	159件	44件	103件	0件	6件	0件	6件																																						
個人情報	26件	12件	7件	1件	5件	0件	1件																																						
利用件数	利用件数の内訳																																												
	行政資料等の閲覧（うち行政資料等の複写）	その他相談等																																											
694件	568件	(504件) 126件																																											
成 果		1 情報公開 公文書の開示については、迅速かつ適切に行うとともに、情報公開制度の適正な運営に努め、情報公開の推進に取り組むことができた。請求件数は159件で前年度より44件増加したが、開示決定に係る所要日数は8.5日程度（決定期限を延長した6件を除いた所要日数は7.8日程度）で条例で定める期限（開示請求のあった日の翌日から起算して14日以内）の範囲内となっている。 また、情報公開コーナーの利用状況は、全体で694件（行政資料等の閲覧が568件、その他相談等が126件）あり、速やかな開示決定を行うことで、市民に対する情報提供を円滑に行うことができた。 2 個人情報保護 個人情報の保護に関する法律に基づいた市が保有する個人情報の適正な取扱いや自己を本人とする保有個人情報の開示・訂正などを請求する権利を保障するとともに、個人の権利利益を保護し、より適切な個人情報保護制度の運用を図ることができた。 また、個人情報保護制度が個人情報の保護に関する法律に一元化されたことに伴い、石巻市保有個人情報等取扱規程を同法に則した形で全部改正し、庁内の個人情報の安全管理措置体制を再構築した。																																											
成果に係る評価		情報公開の推進については、公文書開示請求において、情報公開条例や判例等を踏まえながら、保護される利益と公益上の必要性とを個別具体的に比較検討し、統一的な判断基準に基づき、迅速かつ適切な情報公開事務に努めることができた。今後も、市民に必要な情報を公正かつ正確に伝え、市民と行政との信頼関係を深めていく。 個人情報の取扱いについては、令和5年度から個人情報の保護に関する法律に基づき国の法律に一元化され、全国的な共通ルールとすることとなったが、個人の権利利益が侵害されることのないよう、今後も同法を遵守し、適正な管理運営に努めていく。																																											
		(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																							
	3,081,000	2,353,725			62,350	2,291,375																																							

予算科目	2 款	総務費	事業名		広報事業														
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち														
	2 目	文書広報費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進														
	事業	広報活動費		(2)	市民の関心を高める情報発信を推進する														
担当部課		総務部秘書広報課		実施計画掲載ページ		P 106													
目的及び事業内容			市の現状や施策等各種情報を広く市民へ周知し、市民の市政への理解と関心を高めるため、市報、定例記者会見、ホームページ、SNS等を活用して情報発信する。																
取 組 実 績			広報事業を以下のとおり実施した。 1 「市報いしのまき」発行 (1) 発行：12回（毎月1日発行） (2) 部数：月62,000部 (3) 紙面：全16ページ (4) 配布：全戸配布 (5) 主な内容 ・市の財政状況 ・各種イベント情報 ・各種行政情報 ・施政方針 ・まちの話題 ・休日等救急当番医 ・子育て支援情報 ・各種検診 ・文化スポーツ行事 ・各種事業の募集 2 定例記者会見開催・・・12回開催 3 ホームページ掲載・・・適宜掲載 4 Facebook及びXでの情報発信・・・各87件発信 5 LINEでの情報発信・・・77件発信																
成 果			広報事業を実施することにより、市民に対し適切に行政情報を提供することができた。 ホームページについては、防災関連の情報を見やすくするため、防災情報サイトを新規に作成した。 これまで防災情報の配信だけだったLINE公式アカウントを5月にリニューアルし、イベント等の情報発信を新たに行った。また、動く市長室の参加者や転入者等にチラシの配布を行ったほか、市報に友だち登録のお願いを掲載した結果、友だち数は大幅に増加した。なお、SNSを活用した情報発信については、全庁的に取り組めるよう、令和5年度に石巻市ソーシャルメディアガイドラインの素案を作成し、令和6年度の策定を予定している。 ●ホームページアクセス件数（活動指標） <table><tr><td>R5目標値</td><td>R5実績</td><td>達成率</td></tr><tr><td>8,609,000件</td><td>6,145,575件</td><td>71.3%</td></tr></table> ●LINE公式アカウントの友だち数（成果指標） <table><tr><td>R5目標値</td><td>R5実績</td><td>達成率</td></tr><tr><td>13,000人</td><td>16,401人</td><td>126.1%</td></tr></table>					R5目標値	R5実績	達成率	8,609,000件	6,145,575件	71.3%	R5目標値	R5実績	達成率	13,000人	16,401人	126.1%
R5目標値	R5実績	達成率																	
8,609,000件	6,145,575件	71.3%																	
R5目標値	R5実績	達成率																	
13,000人	16,401人	126.1%																	
成果に係る評価			市報、定例記者会見、ホームページ、SNS等を積極的に活用し、市政に更に興味・関心を持ってもらえるよう魅力ある内容で情報発信に努め、さらなる広報事業の充実を図る。																
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	42,181,000	41,072,314	32,000		13,704,800	27,335,514													

予算科目	2 款	総務費	事業名		旧河南給食センター解体事業							
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち							
	5 目	財産管理費		第 2 節	持続可能な行財政運営の推進							
	事業	普通財産等管理費		(2)	未利用公有財産の有効な利活用を図る							
担当部課		総務部管財課	実施計画掲載ページ		P 108							
目的及び事業内容		老朽化している旧河南給食センターについて、令和5年度より2か年で計画的に解体撤去する。										
取 組 実 績		1 令和5年度事業実施状況 (1) 解体のための実施設計が完了。 2 令和6年度事業計画 (1) 解体撤去工事を予定。										
成 果		年次計画に従い解体のための実施設計が完了したことで、令和6年度の解体撤去工事に向けた準備が整った。 <table><tr><td>年度</td><td>実施内容</td><td>事業費</td></tr><tr><td>R5</td><td>旧河南給食センター解体工事設計業務</td><td>1,996,500円</td></tr></table> 旧河南給食センター概要 (ア) 旧河南給食センター 鉄骨造 平屋建て 558.21㎡ (イ) 車庫棟 鉄骨造 平屋建て 56.79㎡ (ウ) 駐輪場 鉄骨造 平屋建て 26.00㎡					年度	実施内容	事業費	R5	旧河南給食センター解体工事設計業務	1,996,500円
年度	実施内容	事業費										
R5	旧河南給食センター解体工事設計業務	1,996,500円										
成果に係る評価		老朽化した施設を解体することで、当該地区の住環境の改善と用地の有効活用が図られるため、計画に従い事業を継続実施する必要がある。										
(単位：円)												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源						
	2,650,000	1,996,500				1,996,500						

予算科目	2 款	総務費	総合計画	事業名	がんばる石巻応援寄附事業																																																		
	1 項	総務管理費		第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち																																																		
	6 目	企画費		第 2 節	持続可能な行政運営の推進																																																		
	事業	がんばる石巻応援寄附関係費		(4)	自主財源の安定的確保を図る																																																		
担当部課		復興企画部ふるさと納税推進課		実施計画掲載ページ		P 109																																																	
目的及び事業内容		各種事業の財源確保のほか、返礼品である地場産品を送付することで本市の魅力を伝えとともに、市内事業者の販路拡大及び地域経済の活性化を図る。																																																					
取 組 実 績		1 寄附の受付 主要5ポータルサイトに加え、新規開設の5ポータルサイト及び、現地決済型ふるさと納税「べいふる」の導入、申込用紙により寄附を募集し、寄附額を伸ばした。 申込割合：楽天ふるさと納税37.4%、さとふる33.9%、ふるさとチョイス15.2%、ふるなび8.6%、ANAのふるさと納税1.7%、その他2.9%、申込用紙0.3% 2 返礼品の登録 新規返礼品数を164品追加、全体で584品となり、昨年度比1.4倍と大きく拡充できた。 3 クラウドファンディング、災害支援代理寄附の受付を実施 (1) ウクライナ人道危機支援 R5年4月1日～R6年3月31日 計 2,162,000円 (2) 川開きクラウドファンディング R5年5月中旬～R5年8月3日 計 12,364,000円 (3) 能登半島地震（志賀町、輪島市、珠洲市）R6年1月12日～R6年3月31日 計 51,934,106円 4 広報の実施 (1) 各ポータルサイトの特集への掲載 (2) 新聞、雑誌への記事掲載 「週刊文春 ふるさと納税特集タイアップ広告（11/22発売）」、「朝日新聞 ふるさと納税通信（11月発行）」																																																					
成 果	1 寄附受入実績 件数・金額ともに過去最高となり、約13.5億円となった。うち能登半島地震による代理寄附が、51,934,106円（2,456件）、通常のふるさと納税は、1,305,196,543円（102,452件）であった。																																																						
	<table><tr><td>年度</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>寄附件数</td><td>25,932件</td><td>27,192件</td><td>42,978件</td><td>69,950件</td><td>104,908件</td></tr><tr><td>寄附金額</td><td>354,718,283円</td><td>357,365,754円</td><td>532,335,930円</td><td>799,288,949円</td><td>1,357,130,649円</td></tr></table> 2 寄附充当事業 寄附金は一度基金として積み立てた後、寄附者の意向により本市の各種事業に充当しており、R5年度実施事業では、寄附額559,510,000円を充当した。 <table><tr><td colspan="2">寄附区分</td><td>充当額</td><td>充当割合</td></tr><tr><td colspan="2">①住民同士の絆・支え合いで安心安全に暮らせるまち</td><td>60,796千円</td><td>10.9%</td></tr><tr><td colspan="2">②都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち</td><td>23,917千円</td><td>4.3%</td></tr><tr><td colspan="2">③共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち</td><td>21,680千円</td><td>3.8%</td></tr><tr><td colspan="2">④多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち</td><td>32,987千円</td><td>5.9%</td></tr><tr><td colspan="2">⑤豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち</td><td>65,000千円</td><td>11.6%</td></tr><tr><td colspan="2">⑥市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち</td><td>355,130千円</td><td>63.5%</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>559,510千円</td><td>100.0%</td></tr></table> ※ ⑥については、ふるさと納税の運営に係る経費を含む。						年度	R1	R2	R3	R4	R5	寄附件数	25,932件	27,192件	42,978件	69,950件	104,908件	寄附金額	354,718,283円	357,365,754円	532,335,930円	799,288,949円	1,357,130,649円	寄附区分		充当額	充当割合	①住民同士の絆・支え合いで安心安全に暮らせるまち		60,796千円	10.9%	②都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち		23,917千円	4.3%	③共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち		21,680千円	3.8%	④多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		32,987千円	5.9%	⑤豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		65,000千円	11.6%	⑥市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち		355,130千円	63.5%	計		559,510千円
年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																		
寄附件数	25,932件	27,192件	42,978件	69,950件	104,908件																																																		
寄附金額	354,718,283円	357,365,754円	532,335,930円	799,288,949円	1,357,130,649円																																																		
寄附区分		充当額	充当割合																																																				
①住民同士の絆・支え合いで安心安全に暮らせるまち		60,796千円	10.9%																																																				
②都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち		23,917千円	4.3%																																																				
③共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち		21,680千円	3.8%																																																				
④多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		32,987千円	5.9%																																																				
⑤豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		65,000千円	11.6%																																																				
⑥市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち		355,130千円	63.5%																																																				
計		559,510千円	100.0%																																																				
成果に係る評価		ポータルサイト5件を新規開設するとともに、新規返礼品を追加しバリエーションを増やしたほか、新聞、雑誌への広告掲載などにより、代理寄附の51,934,106円（志賀町3,035,500円（183件）、輪島市17,804,330円（848件）、珠洲市31,094,276円（1,425件））を除き、前年度と比較し約1.6倍の1,305,196,543円とすることができた。 「がんばる石巻応援寄附」は、本市の各種事業実施のために欠かせない財源となっていることから、市場ニーズを把握し、事業者と協力しながら人気返礼品を毎年提供可能とする体制を整え、魅力ある返礼品の開発と情報発信を強化し、全国の方々に広くPRすることにより、地域の活性化と更なる寄附額の増加を目指していく。																																																					
(単位：円)																																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
	902,077,500	803,786,340			345,130,711	458,655,629																																																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	事業名		SDGs 推進事業																					
	1 項	総務管理費		第 2 章	未来都市の実現 ※第4編 地方創生の取組																						
	6 目	企画費		第 1 節	コミュニティを核とした持続可能な地域社会をつくる																						
	事業	SDGs 推進関係費		(2)	地域コミュニティによる支え合いを推進する																						
担当部課		復興企画部 SDGs 移住定住推進課		実施計画掲載ページ		P110																					
目的及び事業内容		経済・社会・環境の三側面を統合的に取り組み、地方創生の実現に資する持続可能なまちづくりを目指すというSDGsの考えを原動力として、将来にわたって活力ある地域社会の実現を目指す。 1 SDGs 普及啓発事業 2 モデル事業で整備した電動カートの活用																									
取 組 実 績		1 SDGs 普及啓発事業 (1) 職員研修の実施…受講者189名。カードゲーム方式で実践的な取り組み及び考え方を学んだ。 (2) いしのまき圏域SDGs パートナー企業の増加…402件の企業等を新規登録。累計854件 (3) SDGs フェス…9/16～25の10日間、イオンモール石巻と共催でワークショップ等実施 (4) SDGs ビーチクリーン活動…10/29に渡波海水浴場の清掃活動を実施し、90名が参加 (5) 圏域SDGs シンポジウム…10/30に海洋環境をテーマに東松島市で開催し、234名が参加 (6) SDGs セミナー…1/19に取組事例の紹介や情報共有を目的に開催し、37団体56名が参加 (7) SDGs 出前講座…小学校などで7回実施、201名受講 2 モデル事業で整備した電動カートの活用 のぞみ野・あゆみ野地区に設置している電動カートを、高齢者の移動手段として、買い物やサークル活動などで活用した。																									
成 果		1 SDGs 普及啓発事業 SDGs 認知度が向上し、その中でも実際に取り組んでいる市民の割合は、5.7%から39.9%と大幅に増加したほか、学校教育においても様々な取組が展開されている。 2 モデル事業で整備した電動カートの活用 あゆみ野地区は管理主体等についての協議に時間がかかり、本格稼働までは至らなかった。のぞみ野地区の電動カートはバッテリーの不具合が生じたため利用者が減少したものの高齢者の外出機会の創出及び孤立防止が図られた。 利用者数内訳 (単位：人) <table><tr><th>地区</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr><tr><td>のぞみ野</td><td>152</td><td>277</td><td>78</td></tr><tr><td>あゆみ野</td><td>—</td><td>—</td><td>5</td></tr><tr><td>計</td><td>152</td><td>277</td><td>83</td></tr><tr><td>目標値</td><td>—</td><td>300</td><td>620</td></tr></table>						地区	令和3年度	令和4年度	令和5年度	のぞみ野	152	277	78	あゆみ野	—	—	5	計	152	277	83	目標値	—	300	620
地区	令和3年度	令和4年度	令和5年度																								
のぞみ野	152	277	78																								
あゆみ野	—	—	5																								
計	152	277	83																								
目標値	—	300	620																								
成果に係る評価		SDGs に関する情報発信や出前講座のほか、市民参加型のイベントなどを継続して行ってきたことで認知度の向上が図られており、実際に取り組んでいる人の割合も確実に向上している。 パートナー企業も大幅に増加していることから、パートナー企業と連携した取組を充実させ、脱炭素社会・循環型社会の実現に向けて、市民一人一人の行動変容を促し、環境を重視する価値観の浸透を図るため、事業を継続する必要がある。 電動カートの活用については、地区のイベント等を通してまだ活用したことがない高齢者や子育て世帯に利用してもらい、日常的な利用につなげていく。																									
(単位：円)																											
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
		5,990,200	5,968,646			293,154	5,675,492																				

予算科目	2 款	総務費	事業名		心の復興事業														
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち														
	6 目	企画費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実														
	事業	心の復興事業関係費（東日本大震災関係分）		（ 2 ）	地域の均衡ある発展を図る														
担当部課		復興企画部復興推進課		実施計画掲載ページ		P 11													
目的及び事業内容		東日本大震災で被災された方が、主体的に参加し、人と人とのつながりや、生きがいをもち、安定的な日常生活を営むことができるよう、支援団体等による心の復興に資する事業の実施に対して補助金を交付し、事業を支援する。																	
取 組 実 績		17団体が地域特性への対応や、課題解決への取組を行った。 活動内容として、復興公営住宅に入居する高齢者を対象に、農業体験として野菜作りなどを行うことで、地域の子どものから高齢者まで、多世代が交流できる機会を創りだしたほか、復興公営住宅団地と近隣自治会住民を対象とした交流会や介護予防のワークショップなどを開催した。 <table><tr><td>年度</td><td>交付団体数</td><td>交付額</td></tr><tr><td>R3</td><td>14団体</td><td>23,685千円</td></tr><tr><td>R4</td><td>15団体</td><td>20,368千円</td></tr><tr><td>R5</td><td>17団体</td><td>14,893千円</td></tr></table>						年度	交付団体数	交付額	R3	14団体	23,685千円	R4	15団体	20,368千円	R5	17団体	14,893千円
年度	交付団体数	交付額																	
R3	14団体	23,685千円																	
R4	15団体	20,368千円																	
R5	17団体	14,893千円																	
成 果		地域ごとの課題に応じた各団体の取組や活動に多くの参加者があり、被災者の心身のケア、孤立防止、心身の健康維持、コミュニティ形成の促進等を図ることができた。 また、復興公営住宅集会所でワークショップなどを定期的に開催することで、被災者と近隣自治会住民との地域交流の輪が広がり、孤立を防止する効果などが見られた。 <table><tr><td>年度</td><td>参加者実人数</td><td>参加者延べ人数</td></tr><tr><td>R3</td><td>9,775人</td><td>18,327人</td></tr><tr><td>R4</td><td>7,491人</td><td>17,446人</td></tr><tr><td>R5</td><td>9,638人</td><td>21,904人</td></tr></table>						年度	参加者実人数	参加者延べ人数	R3	9,775人	18,327人	R4	7,491人	17,446人	R5	9,638人	21,904人
年度	参加者実人数	参加者延べ人数																	
R3	9,775人	18,327人																	
R4	7,491人	17,446人																	
R5	9,638人	21,904人																	
成果に係る評価		前年度より事業実施団体が増加したことや、新型コロナウイルス感染症の終息に伴い、本来の活動ができるようになったことから参加者数が増加した。																	
		地域ごとの課題に応じた各団体の取組や活動の結果、被災者の「孤立防止」や「心身の健康維持」、「コミュニティ形成」を図ることができた。																	
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	15,000,000	14,893,000	14,893,000																

予算科目	2 款	総務費	事業名	政策コンテスト開催事業		
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち	
	6 目	企画費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進	
	事業	政策推進関係費		(1)	多様な市民ニーズの把握に努める	
担当部課		復興企画部政策企画課	実施計画掲載ページ		P 105	
目的及び事業内容		市政への関心や政治への当事者意識を高め、石巻への愛着と定住のきっかけを創出するとともに、コンテスト形式で「若者らしい斬新かつ、現実性を備えた政策提案」を競い合い、優秀な提案については今後の政策に反映する。				
取 組 実 績		令和5年度いしのまき政策コンテストについては、新型コロナウイルス感染症の終息に伴い、令和元年度以来4年ぶりに開催した。 7月29日のキックオフを皮切りに、約3か月にわたり内容の検討を行い、10月29日の決勝大会において各チームから政策が発表された。 ○実施日程（全体催事） 7月29日 キックオフ				

予算科目	2 款	総務費	事業名		ＬＩＮＥ公式アカウント活用事業												
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち												
	6 目	企画費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進												
	事業	Ｄ×関連事業推進費		(4)	市民サービスの利便性の向上を図る												
担当部課		復興企画部Ｄ×推進課		実施計画掲載ページ		P 106											
目的及び事業内容			市民に身近なソーシャルメディアであるＬＩＮＥ上で、行政情報の入手や行政手続等を行うことができるよう、本市のＬＩＮＥ公式アカウントの機能を拡張し、市民の利便性向上を図る。														
取 組 実 績			令和5年5月に本市のＬＩＮＥ公式アカウントの運用を大幅に見直し、これまでの防災情報の発信に加え、市民が手軽に必要な行政情報を入手し、またオンライン手続ができるようＬＩＮＥ機能の充実を図った。 ◆ 主な内容 ・ 市民のくらしに密着した情報の掲載（子育て情報、ごみカレンダー、救急当番医情報等）のほか、イベント情報や市政の新着情報など、欲しい情報を探しやすくなるためのリッチメニュー（トーク画面上で表示されるメニュー機能）を設けた。 ・ ニーズに応えた情報発信も可能とするため、登録者が自身で受信したい情報を選べるようにした。 ・ マイナンバーカードを使った本人確認と、手数料等の支払いをクレジットカードを使ったオンライン決済サービスとする機能を拡張したことにより、住民票の写しの交付請求を開始した。 ・ 道路、公園の不具合の通報をＬＩＮＥ公式アカウントからも経由して出来るようにした。 ・ 令和4年度から実施しているオンライン手続（びったりサービス）をＬＩＮＥ公式アカウントからも経由して出来るよう変更した。														
成 果			◆ 市民サービスとしての成果 ＬＩＮＥ公式アカウントのリニューアルにより、各種オンライン手続や通報機能など、時間と場所を選ぶことなく利用が可能となったほか、手続漏れやイベント参加できなかった等の不利益を被ることのないよう手続に関する大切なお知らせやイベント開催など、旬な情報を、時期を逸することなく速やかに知らせるような、市民生活に密着したコミュニケーションツールとして利便性の向上に寄与した。 ◆ 職員側に対する成果 オンライン申請を可能としたことにより、申請情報のデータが届く、またペーパーレス化が図られるほか、不明な点を直接ＬＩＮＥでやり取りできる双方向の機能が実装されているため、電話が繋がらないといった問題も解消された。 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">成果指標【ＬＩＮＥ公式アカウントの友だち数】</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目 標</th><th>実 績</th></tr><tr><td>R5</td><td>13,000人</td><td>16,401人</td><td>126.1%</td></tr></table>					年度	成果指標【ＬＩＮＥ公式アカウントの友だち数】		達成率	目 標	実 績	R5	13,000人	16,401人	126.1%
年度	成果指標【ＬＩＮＥ公式アカウントの友だち数】		達成率														
	目 標	実 績															
R5	13,000人	16,401人	126.1%														
成果に係る評価			ＬＩＮＥの友だち登録者数は、16,401名（令和6年3月末）となっており、リニューアル前と比較して約3,000名の増加となっていることから、市民への情報伝達等の利便性の向上が図られた。 令和6年度にも、産後ケアサービスや育児ヘルパーのオンライン申請のほか、ＬＩＮＥを経由した職員採用試験の申込受付、また調整給付金の申請等を開始予定である。 市民サービスの利便性の向上及び職員側の事務の効率化のため、オンライン申請の拡充は必須の事業であり、その中でも、市民に身近なソーシャルメディアであるＬＩＮＥにおける行政サービスの充実が、市民にとって身近な市役所となることから、今後も各種業務のオンライン化について、関係課と調整し、進めていきたい。														
(単位：円)																	
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳													
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
		3,380,000	2,381,259				2,381,259										

予算科目	2 款	総務費	事業名		ＩＣＴ活用による業務効率化推進事業												
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち												
	6 目	企画費		第 2 節	持続可能な行財政運営の推進												
	事業	Ｄ×関連事業推進費		(1)	限られた人材、財源等を最大限活用できる体制を構築する												
担当部課		復興企画部Ｄ×推進課		実施計画掲載ページ		P 108											
目的及び事業内容			ＩＣＴを活用することにより庁内事務作業の工数を改善し、職員の負担を減らし、確認漏れなどの事務ミスを防ぐことで、「効率的・効果的な行財政運営」を図る。														
取 組 実 績			各デジタル技術を導入し、効率的・効果的な業務運営を図った。 ◆ 主な取組 ・業務に関するアンケート、申込、申請などの電子申請フォーム（データの入力画面）を専門知識がなくても作成できるデジタルツール（ＬｏＧｏフォーム）の導入 ＜活用事例＞ 市民意識調査回答への活用、各種アンケート調査の回答への活用、各種イベント参加への申込への活用等 ・パソコン上の定型業務を自動化するデジタル技術（ＲＰＡ）の活用 ＜活用事例＞ 選挙速報集計業務、放課後児童クラブ申込情報等入力 ・紙文書をスキャナで読み込み、文字をデータ化する作業が省力化できるデジタル技術（ＡＩ－ＯＣＲ）の活用 ＜活用事例＞ 下水道事業に関するアンケート、人間ドック結果表集計等														
成 果			ＬｏＧｏフォームを活用している課・室に、アンケート調査を実施した結果、業務の効率化が図られたと回答した課の割合は、91.49%となっており、業務の効率化が図られた。 また、選挙速報集計事務については、これまで、指定した時間ごとに各投票所から電話により報告を受けていた入力作業をＲＰＡ等を活用した運用に変更したことにより、従前の作業時間より短縮することができた。 <table><tr><td rowspan="2">年度</td><td colspan="2">成果指標【業務が効率化した課の割合】</td><td rowspan="2">達成率</td></tr><tr><td>目標</td><td>実績</td></tr><tr><td>R5</td><td>60.0%</td><td>91.49%</td><td>152.4%</td></tr></table>					年度	成果指標【業務が効率化した課の割合】		達成率	目標	実績	R5	60.0%	91.49%	152.4%
年度	成果指標【業務が効率化した課の割合】		達成率														
	目標	実績															
R5	60.0%	91.49%	152.4%														
成果に係る評価			アンケートの結果により、導入したデジタル技術を活用することにより、業務の効率化が図られることが明確になっているので、引き続き導入した課の利活用のほか、未利用課にも活用してもらえるように働きかけを行うなど、庁内業務の効率化を図っていく。 また、令和6年度には、ＡＩ音声認識技術による会議録を作成するデジタル技術を導入し、更なる業務の効率化を図っていく。														
(単位：円)																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	5,020,200	4,657,950				4,657,950											

予算科目	2 款	総務費	事業名		石巻専修大学地域連携助成事業	
	1 項	総務管理費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	7 目	地域振興費		第 5 節	企業誘致の推進と新たな産業の創出	
	事業	地域活性化関係費		(3)	地域資源を活かした産業を強化する	
担当部課		復興企画部政策企画課		実施計画掲載ページ		P 82
目的及び事業内容		地域及び行政が抱える課題の解決を図り、地域社会の発展と人材の育成及び学術の振興に寄与するため、本市が抱える課題を提案し石巻専修大学が研究を行う「地域連携事業」のほか、石巻専修大学が独自に取り組む「研究プロジェクト事業」及び「社会還元事業」を支援する。				
取 組 実 績		1 令和5年度に報告を受けた研究（令和4年度支援事業） 【地域連携事業】 (1) 原子力災害に係る危機管理教育と避難計画の周知 (2) 地方創生 R P G アプリを活用した郷土理解と地域振興の可能性 (3) 石巻市 S D G s モデル事業グリーンスローモビリティ研究 (4) 石巻魚市場に水揚げされる低利用魚・鯨類の利活用 (5) 地域特産オリーブを活用したオリーブ銀鮭・オリーブ鶏の開発口 ～地域のブランド化戦略推進に資する養殖飼料の開発～ 【研究プロジェクト事業】 (1) 配電線の絶縁耐力格差を用いた雷事故抑制に関する研究 (2) 牡鹿半島のニホンジカの幼角から得られる薬効成分の解析 2 令和5年度に支援した研究 【地域連携事業】 (1) 石巻市 S D G s モデル事業グリーンスローモビリティ研究 (2) 石巻市におけるニホンジカと車の接触事故の発生要因の解明 (3) 地方創生 R P G アプリを活用した郷土理解と地域振興の可能性 (4) 石巻魚市場に水揚げされる低利用魚・鯨類の冷凍保管試験 (5) オリーブを活用したオリーブ銀鮭の開発 (6) 石巻市将来都市研究 【研究プロジェクト事業】 (1) 石巻市の子供の身体組成の特徴と生活習慣との関連性				
成 果		地域連携事業では、本市が令和4年度に提案した5件の課題すべてに対して、課題解決につながる研究結果が報告され、目標としていた報告件数5件を達成し、達成率は100%となった。 また、大学が独自に取り組む研究プロジェクト事業では、2件の研究結果が報告された。 【地域連携事業における主な報告内容】 石巻魚市場に水揚げされる低利用魚・鯨類の利活用においては、ツチクジラとミンククジラの脂肪塊の成分分析の結果、動脈硬化や血圧低下等に効果があるオメガ3脂肪酸が含まれていることが判明し、薬やサプリメントへの利用の可能性について報告された。また、オリーブ銀鮭の研究では、通常の銀鮭と比較して抗酸化、肉質改善に優位性を持っていることが報告された。 【研究プロジェクト事業における主な報告内容】 ニホンジカの幼角から得られる薬効成分の解析においては、獣害駆除により廃棄されていたニホンジカの幼角抽出液を用い、樹状細胞に対する効果について検討を行った結果、樹状細胞を T リンパ球活性化へと誘導する可能性が見出されたことが報告された。				
成果に係る評価		石巻専修大学の持つ専門的な知見を活用することで、詳細なデータ収集や分析等が可能となり、地域課題解決の一助とすることができた。 本事業を一層効果的なものとしていくため、大学との意見交換等を重ねながら地域課題を共有し、解決に向けて必要な研究を引き続き支援していく。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳	
					国(県)支出金	一般財源
	10,000,000		10,000,000			10,000,000

予算科目	2 款	総務費	事業名		集会所建設費補助事業		
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実		
	事業	市民協働推進費		(1)	コミュニティ活動の活性化を図る		
担当部課		市民生活部地域協働課		実施計画掲載ページ		P 11	
目的及び事業内容			町内会その他市長が認める者が行う地域住民のための集会所の建設等整備事業に対して補助金を交付することにより、住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図り、もって地域社会の健全な発展に資するため、集会所の新築事業及び増築、改築、改装、修繕事業等に対し補助するもの。				
取 組 実 績			集会所の新築及び修繕・改修に対して石巻市集会所建設費等補助金を交付した。 1 新築1件 (1) 大橋会館 2 修繕2件 (1) 定川会館				

予算科目	2 款	総務費	事業名		地域づくり基金助成事業		
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実		
	事業	市民協働推進費		(2)	地域の均衡ある発展を図る		
担当部課		市民生活部地域協働課		実施計画掲載ページ		P 12	
目的及び事業内容		市民の連携強化及び均衡ある地域振興に資するため、行政との協働のまちづくりにより実施する事業や地域コミュニティ活性化を図る事業に対し、限度額30万円を助成するもの。					
取 組 実 績		24団体より申請があり、一次審査及び公開プレゼンテーションによる審査の結果、16団体に助成金を交付した。 目標値：申請件数18件、活動実施件数13件 1 新規助成団体数 7団体（本庁地区6件、北上地区1件） 2 継続助成団体数 9団体（本庁地区8件、河南地区1件） 計 助成団体数 16団体（本庁地区14件、河南地区1件、北上地区1件）					
成 果	事業の実施により、地域イベントの開催や地域の自然環境を守る活動等が行われ、多様な分野での地域コミュニティ活性化や地域振興が図られた。						
	No	団体の名称			事業の名称		
	1	一般社団法人フードバンクいしのまき			食品ロス削減「フードドライブ」の推進活動		
	2	石巻劇場芸術協会			「石巻文化通り映画祭」および「いしのまき体験映画祭」		
	3	一般社団法人ウィーアーワン北上			平地の杜子ども園藝部		
	4	すばらしい北上運河沿線の自然環境を守る協議会			すばらしい北上運河沿線の自然環境美化活動		
	5	一般社団法人イトナブ石巻			石巻みんなのトイレマッププロジェクト		
	6	すみよし夏祭り実行委員会			すみよし夏祭り		
	7	がんばろう!石巻の会			東日本大震災追悼3.11のつどい/がんばろう!石巻看板周辺整備		
	8	6区合同（桃浦区、蛤浜区、荻浜区、小積浜区、狐崎区、牧浜区）			浜に彩りを（令和5年度）6区合同		
	9	特定非営利活動法人一歩を楽しむ石巻			視覚障害者同士および晴眼者とのネットワーク形成事業		
	10	一般社団法人サステナブルデザイン工房			足元の宝を未来につなぐ事業		
	11	交流農園《じゃがいも》			地域を耕し 笑顔を育てる		
	12	中央正和会			いきいき花のプロジェクト（花いっぱい運動）		
	13	一般社団法人H i t o R e h a			パラレルアクティビティ		
	14	河南鹿嶋ばやし保存会			河南鹿嶋ばやし伝承事業		
	15	日和山カフェ			あなたも備えよう！ ～もしもがんにになったら～		
	16	一般社団法人I S H I N O M A K I 2.0			石巻一箱古本市2023		
成果に係る評価		活動指標目標値の申請件数18件に対し、実績は24件、成果指標目標値の活動実績件数13件に対し、実績は16件となっており、いずれも目標値を達成した。 助成団体の活動内容は、伝統文化継承や環境美化など多岐にわたり、活動に参加することで住民同士の交流が生まれ、地域コミュニティの活性化が図られている。 また、参加団体の募集にあたり、市報・ホームページ掲載のほか、石巻市NPO支援オフィスを通じて、広く周知を行い、活動実績16件のうち、新規の団体が前年度より3件増の7件となった。今後も新規の団体の採択が増えるよう広く周知を行っていく。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
					国(県)支出金	地方債	その他
	4,000,000		3,794,000				3,794,000
				一般財源			

予算科目	2 款	総務費	事業名		国内姉妹都市・友好都市交流推進事業	
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち	
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実	
	事業	国内姉妹都市・友好都市交流推進費		(3)	友好都市等との交流を推進する	
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ		P 12
目的及び事業内容		国内姉妹都市・友好都市と産業・文化・歴史など、各市町の特性を活かした交流事業を通して、相互理解の促進と地域の活性化を図るとともに、両市（町）民の友好協力関係を築き、各市町との連携を深める。				
取 組 実 績		【茨城県ひたちなか市】 ・第29回ひたちなか祭り（茨城県ひたちなか市を訪問）※隔年事業 実施日：令和5年8月19日（土）、20日（日） 参加者：石巻市長及び市職員、寺崎はねこ踊り保存会 27人 内 容：ひたちなか祭りへ、本市の伝統文化を継承する団体が参加し、はねこ踊りを披露した。 ・石巻川開き祭り100回記念花火大会（本市に来訪） 実施日：令和5年8月5日（土） 来訪者：ひたちなか市長及び市職員5人 【山形県河北町】 ・さくらんぼ狩りツアー（山形県河北町を訪問） 実施日：令和5年6月17日（土） 参加者：石巻市民 44人 ・いしのまき大漁まつりへ河北町民を受入 実施日：令和5年10月15日（日） 参加者：河北町民 40人 ・石巻川開き祭り100回記念花火大会（本市に来訪） 実施日：令和5年8月5日（土） 来訪者：河北町副町長及び町職員2人 【山口県萩市】 ・山口県萩市物産展 実施日：令和5年10月15日（日） 会 場：石巻魚市場 内 容：いしのまき大漁まつりにて、萩市の物産品を販売するとともに、観光パンフレット等を配布した。 ・萩城下町マラソン2023へ招待選手の派遣 実施日：令和5年12月10日（日） 会 場：萩ウェルネスパーク 参加者：石巻RCより招待選手1名				
成 果		前年度までは、新型コロナウイルスの影響により、交流事業を実施することができなかったが、令和5年度から交流事業が再開できたことにより、訪問交流を中心に文化・歴史・産業・スポーツなど各市町の特性を活かした交流事業を実施し、地域の活性化に寄与することができた。 【茨城県ひたちなか市】 寺崎はねこ踊り保存会がひたちなか市へ訪問したことにより、本市の伝統文化を紹介する機会を創出することができた。 【山形県河北町】 両市（町）民が双方を訪問するツアーを実施したことにより、友好親善の交流促進と相互理解を深める一助となった。 【山口県萩市】 本市で実施した物産展を通して、萩市の魅力を発信することにより、友好都市としての認知度の向上につながった。				
成果に係る評価		双方の地域活性化につながる交流事業が実施できていることから、今後も文化・歴史・産業など各都市の特性を活かした交流事業を実施していく。 【茨城県ひたちなか市】隔年で実施している市民交流事業を継続する。また、両市の祭りにて物産展を開催するなど、産業面における交流事業も実施していく。 【山形県河北町】双方を訪問するツアーが両市民に好評であることから、さくらんぼ狩りツアー、いしのまき大漁祭り見学ツアーを、今後も継続していく。 【山口県萩市】萩市との交流事業は、まだ確立されたものではないが、双方の負担を考慮した上で、実施できる交流事業を検討していく。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳	
					国(県)支出金	一般財源
	1,500,000		1,107,180			158,400 948,780

予算科目	2 款	総務費	事業名		結婚支援事業															
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち															
	7 目	地域振興費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進															
	事業	結婚支援事業費		(1)	移住したくなるライフスタイルの形成を図る															
担当部課		復興企画部SDGs移住定住推進課		実施計画掲載ページ		P 14														
目的及び事業内容			未婚・晩婚化の抑制を図るため、結婚を希望する者に対して出会いの機会を提供するとともに、経済的な理由で結婚に踏み出せない男女を後押しするため、市内で新生活を始める新婚世帯に対して、結婚生活のスタートアップに係る費用を支援する。																	
取 組 実 績			各種補助金の交付を行った。 1 結婚等支援事業補助金 団体等が地域資源を活用しながら結婚に対する意識向上を図る取組等を実施する事業に対し補助金（婚活事業上限30万円、恋活事業上限15万円）を交付しているが、交付実績はなかった。 2 結婚新生活支援事業補助金 地域における少子化対策の強化に資するとともに本市への移住及び定住を推進することを目的とし、若い世代の婚姻に伴う新生活に係る支援を行い、経済的不安の軽減を図るため、対象期間内に婚姻した共に39歳以下の夫婦に対して補助金（夫婦ともに29歳以下上限60万円、それ以外上限30万円）を交付した。 3 みやぎ結婚支援センター利用促進補助金 宮城県が設置するみやぎ結婚支援センターの利用促進を図り、結婚を希望する者の出会いの機会拡大を図るため補助金（登録料の半額5,500円）を交付した。 なお、本市の登録者数は、令和6年3月31日時点で121人となった。																	
成 果			各種補助金を交付したことにより、結婚を希望する独身男女の新たな出会いの場を創出するとともに、新婚世帯に対する住宅賃借費用等の支援を図った。 また、本市のみやぎ結婚支援センター登録者のうち、これまで15人が成婚し退会している。 <table><tr><td>補助金名称</td><td>交付件数</td><td>交付金額</td></tr><tr><td rowspan="3">結婚新生活支援事業補助金</td><td>29歳以下 51件</td><td>29歳以下 17,244,000円</td></tr><tr><td>30歳以上 15件</td><td>30歳以上 4,211,000円</td></tr><tr><td>合計 66件</td><td>合計 21,455,000円</td></tr><tr><td>みやぎ結婚支援センター利用促進補助金</td><td>21件 (うち20歳代 1件)</td><td>112,750円 (うち20歳代 2,750円)</td></tr></table> ※令和5年9月1日から、20歳代の登録料が半額の5,500円となったため、補助金については、半額の2,750円を補助した。					補助金名称	交付件数	交付金額	結婚新生活支援事業補助金	29歳以下 51件	29歳以下 17,244,000円	30歳以上 15件	30歳以上 4,211,000円	合計 66件	合計 21,455,000円	みやぎ結婚支援センター利用促進補助金	21件 (うち20歳代 1件)	112,750円 (うち20歳代 2,750円)
補助金名称	交付件数	交付金額																		
結婚新生活支援事業補助金	29歳以下 51件	29歳以下 17,244,000円																		
	30歳以上 15件	30歳以上 4,211,000円																		
	合計 66件	合計 21,455,000円																		
みやぎ結婚支援センター利用促進補助金	21件 (うち20歳代 1件)	112,750円 (うち20歳代 2,750円)																		
成果に係る評価			未婚・晩婚化の抑制を図り、本市への移住・定住者の増加につなげるため、結婚支援事業を実施することで、若い世代の経済的不安の軽減に資するものであることから、事業を継続する必要がある。																	
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	45,955,000	21,647,750	14,303,000		1,000,000	6,344,750														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	事業名			NPO支援推進事業																																	
	1 項	総務管理費		第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																			
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																																			
	事業	地域振興関係費		(1)	コミュニティ活動の活性化を図る																																			
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ		－																																		
目的及び事業内容		市民公益活動団体の活動支援の拠点として「石巻市NPO支援オフィス」を設置し、市民公益活動団体、市民、企業及び市の連携・交流の場所を提供することにより、NPOの育成・支援を図る。 1 NPO支援オフィスの運営委託業務 2 情報収集提供事業 3 研修・カウンセリング事業 4 登録団体実態調査事業 5 協働推進コーディネート事業																																						
取 組 実 績		NPO支援を目的として活動している特定非営利活動法人いしのまきNPOセンターに、石巻市NPO支援オフィスの運営を委託し、利用者の様々なニーズに対応した。 1 運営管理業務 (1) 会議室、ロッカー、メールボックスの貸出 (2) 機器利用サービス(コピー機、簡易印刷機、パソコン等の貸出) 2 情報収集提供業務 (1) 市民公益活動情報の収集・提供及び図書資料の管理・貸出 (2) 情報掲示板、団体情報棚、オフィスホームページの管理・更新 (3) 機関紙、メールマガジン及びメーリングリストでの情報発信 (4) 石巻かほく、石巻日日新聞、ラジオ石巻、市報による情報発信 3 研修・カウンセリング事業 (1) 相談会等相談対応業務 4 登録団体実態調査事業 (1) 登録団体実態調査及びヒアリング 5 協働推進コーディネート事業 (1) 勉強会、懇談会等の開催支援 (2) 団体設立支援業務																																						
成 果		オフィスの運営に当たっては、NPO団体等からの相談等に対応するとともに、様々な媒体を通じて、登録団体の情報発信を積極的に実施し、団体の活動周知を図った。 ・ NPO支援オフィス利用状況 <table><tr><th>年度</th><th>来館者数</th><th>会議室利用数</th><th>相談件数</th><th>図 書 閲覧者数</th><th>パソコン 利用者数</th><th>印刷機 利用者数</th><th>広報等 依頼数</th></tr><tr><td>R3</td><td>1,180人</td><td>50件</td><td>859件</td><td>0人</td><td>6人</td><td>202人</td><td>378件</td></tr><tr><td>R4</td><td>1,171人</td><td>84件</td><td>833件</td><td>2人</td><td>8人</td><td>222人</td><td>434件</td></tr><tr><td>R5</td><td>1,174人</td><td>74件</td><td>751件</td><td>0人</td><td>4人</td><td>267人</td><td>396件</td></tr></table> ・ 石巻市市民公益活動団体……登録数 197団体(前年比5団体増)「R6.3.31日時点」							年度	来館者数	会議室利用数	相談件数	図 書 閲覧者数	パソコン 利用者数	印刷機 利用者数	広報等 依頼数	R3	1,180人	50件	859件	0人	6人	202人	378件	R4	1,171人	84件	833件	2人	8人	222人	434件	R5	1,174人	74件	751件	0人	4人	267人	396件
年度	来館者数	会議室利用数	相談件数	図 書 閲覧者数	パソコン 利用者数	印刷機 利用者数	広報等 依頼数																																	
R3	1,180人	50件	859件	0人	6人	202人	378件																																	
R4	1,171人	84件	833件	2人	8人	222人	434件																																	
R5	1,174人	74件	751件	0人	4人	267人	396件																																	
成果に係る評価		相談件数は減少したものの、団体の設立や法人化に関する問い合わせ、また、団体の活動周知などの依頼は多くあることから、今後も事業を継続し、NPO団体等の育成・支援を図っていく。 なお、石巻市総合体育館内に臨時移転し運営を行っているNPO支援オフィスについては、令和6年8月に石巻市ささえあいセンター内に移転した。																																						
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	9,962,000	9,961,300			9,961,300																																			

予算科目	2 款	総務費	事業名		地域まちづくり委員会事業																																																																																
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																																																																
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																																																																																
	事業	地域振興関係費		(2)	地域の均衡ある発展を図る																																																																																
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ		－																																																																															
目的及び事業内容		地域まちづくり委員会は、平成17年4月の合併に伴う市民意識調査の中で、地域の声が届かないという意見があったことから、均衡ある発展及び活性化を図るため、旧町単位で設置したものである。委員会は市長からの諮問に応じて調査及び審議をし、市長へ答申するほか、各地域のまちづくり施策についても検討して、市長へ提案する役割を担っており、地域の活性化に向けた取組を行う。																																																																																			
取 組 実 績		まちづくり委員会開催実績 <table><tr><th rowspan="2">地区</th><th rowspan="2">委員数</th><th colspan="2">第1回</th><th colspan="2">第2回</th><th colspan="2">第3回</th><th colspan="2">第4回</th></tr><tr><th>開催日</th><th>参加人数</th><th>開催日</th><th>参加人数</th><th>開催日</th><th>参加人数</th><th>開催日</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>河北</td><td>14人</td><td>12/1</td><td>12人</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>雄勝</td><td>15人</td><td>5/31</td><td>6人</td><td>8/22</td><td>10人</td><td>10/31</td><td>13人</td><td>3/21</td><td>11人</td></tr><tr><td>河南</td><td>16人</td><td>11/13</td><td>14人</td><td>2/20</td><td>13人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>桃生</td><td>10人</td><td>10/25</td><td>9人</td><td>1/19</td><td>8人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>北上</td><td>15人</td><td>11/8</td><td>10人</td><td>2/22</td><td>10人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>牡鹿</td><td>13人</td><td>11/8</td><td>10人</td><td>3/27</td><td>8人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						地区	委員数	第1回		第2回		第3回		第4回		開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数	河北	14人	12/1	12人							雄勝	15人	5/31	6人	8/22	10人	10/31	13人	3/21	11人	河南	16人	11/13	14人	2/20	13人					桃生	10人	10/25	9人	1/19	8人					北上	15人	11/8	10人	2/22	10人					牡鹿	13人	11/8	10人	3/27	8人				
地区	委員数	第1回		第2回		第3回				第4回																																																																											
		開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数																																																																												
河北	14人	12/1	12人																																																																																		
雄勝	15人	5/31	6人	8/22	10人	10/31	13人	3/21	11人																																																																												
河南	16人	11/13	14人	2/20	13人																																																																																
桃生	10人	10/25	9人	1/19	8人																																																																																
北上	15人	11/8	10人	2/22	10人																																																																																
牡鹿	13人	11/8	10人	3/27	8人																																																																																
成 果		6地区において、下記の内容について、意見をいただき、事業推進の参考とした。 1 河北地区 パークゴルフ場の利用状況、ニホンジカの被害状況、ビッグバンやメディアシップの今後について 2 雄勝地区 雄勝中心部移転元地等利活用推進計画、地域課題等について 3 河南地区 地域コミュニティの活性化、空き家対策等について 4 桃生地区 桃生地区における地域振興策、地域課題について 5 北上地区 地域の課題等に関する協議、北上地区住民バスの利用促進について 6 牡鹿地区 交流人口の拡大、産業基盤の整備、地域住民の福祉向上等について																																																																																			
成果に係る評価		令和5年9月から新たな委員構成となり、各総合支所職員とともに各地域の様々な課題等の解決に向け協議したほか、各種事業や計画等についての意見交換を行った。 委員会の役割として、地域のまちづくり施策について検討し、市長へ提案することも含まれていることから、委員相互において協議を重ね、提案に向けた取組を行っていくため、各地区において、年2～3回程度の開催実施に向けて取り組んでいく。																																																																																			
(単位：円)																																																																																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																																
					国(県)支出金	地方債	一般財源																																																																														
	2, 155, 000		1, 362, 615			1, 254, 000	108, 615																																																																														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	事業名	復興応援隊設置事業		
	1 項	総務管理費		第 章			
	7 目	地域振興費		第 節			
	事業	地域振興関係費		()			
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ			
目的及び事業内容		被災者の見守りやケア、地域おこし活動などの復興に伴う地域協力活動を通じ、コミュニティの再構築を図る。					
取 組 実 績		令和5年度復興応援隊設置事業委託契約額等					
		地区	隊員数	契約額	内容		
		中央	2人	9,667,900円	・市民が主体となった震災伝承活動の支援 ・市民参加による震災伝承プログラムの実施 ・石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会や地域団体との調整など		
		雄勝	3人	12,062,600円	・地域活性化活動への支援(イベント、祭典協力) ・観光PRや地域PR活動の実践 ・地域コミュニティ活動支援 ・道の駅PR活動支援、情報誌の発行など		
		北上	3人	8,580,000円	・被災元地利活用促進のプロジェクト企画と創業支援 ・地域自治組織の実情等に応じた支援活動や相談業務 ・地域の活性化支援(北上につこり祭り、イベントの運営) ・かわらばんの発行(年2回)、各種イベントチラシ発行など		
		計		30,310,500円			
成 果		【中央地区】 震災学習プログラムでは、修学旅行や校外学習の受入が増加したほか、リピーターの学校も増えたことで、多くの参加者に命を守る行動や教訓を知ってもらう機会となった。また、地域住民による語り部や、地域団体と連携したプログラムを提供できた。 【雄勝地区】 おがつ海鮮まつりのサポートやビーチクリーン活動を通じて、地域コミュニティの活性化や観光PRの実践を行うことができた。また年に4回発行した「視上の里おがつニュース」や奇数月に発行したかわら版では、地域や道の駅内の明るい話題に紙面を割き、手に取った住民がより雄勝を身近に感じるよう工夫したことで、自分たちのまちへの関心を高めることができた。 【北上地区】 被災元地利活用の情報発信とニーズの掘り起こしを目的とした起業・創業支援窓口等の設置運営、また、自治会等の実情や要望に応じた相談業務等の支援活動を行い、北上地区の住民主体となるコミュニティの再構築を促進することができた。					
成果に係る評価		各地区において、コミュニティの再構築に向けた住民主体の活動支援や地域PR活動による情報発信、イベント等を実施したことで地域コミュニティの活性化につながった。 本事業については、第2期復興・創生期間の終了を見据え、住民が自分たちで主体的に活動ができるよう、人材育成や地域コミュニティの構築支援を行い、住民主体の地域活動への定着を図る。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
			30,311,000	30,310,500			30,310,500

予算科目	2 款	総務費	事業名		移住対策事業													
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち													
	7 目	地域振興費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進													
	事業	地域交流・定着支援等事業費		(1)	移住したくなるライフスタイルの形成を図る													
担当部課		復興企画部SDGs移住定住推進課		実施計画掲載ページ		P 13												
目的及び事業内容		少子高齢化、人口減少が本市の大きな課題となっており、持続可能な自治体運営のためには、移住・定住の促進による人口の維持が求められていることから、移住相談窓口の設置やお試し移住体験等の事業を実施するほか、住宅の取得等に伴う支援を行い、移住希望者が移住を検討しやすい環境を整備し、移住・定住の促進を図る。																
取 組 実 績		1 移住相談 (1) 移住相談窓口の開設 新規相談者数：209名 (2) 移住ポータルサイト「いしのまきを選ぶ」の開設 (3) SNS（Facebook、Instagram、Youtube）を活用したPR活動 2 移住・定住促進 ・首都圏で開催された移住促進（移住相談）イベントに4回参加した。 相談受付数：延べ42組49名 ・首都圏で食とお笑いをテーマにした移住促進イベントを開催した。 参加者：延べ88名 ・圏域の魅力を発信するため、2市1町が連携して1泊2日のお試し移住体験プログラムを実施し、各市町の魅力スポットや先輩移住者を巡った。 参加者：8組10名 3 お試し移住体験 ・中央第三復興住宅 利用実績：35件54名 ・折浜復興住宅 利用実績：3件5名 ・網地島マルホンハウス（R5.8～） 利用実績：9組20名 4 定住促進住宅取得等補助金 市外から転入し住宅を取得又は改修した方に対して補助金を交付した。 補助額 取得の場合：最大150万円 改修の場合：最大50万円 交付実績 取得：52件 59,296,000円 改修：1件 500,000円 計 53件 59,796,000円 5 移住支援金 東京圏一極集中の是正を図るため、県及び県内市町村が共同して支援金を支給した。 支給額 単身移住60万円、世帯移住100万円（18歳未満の世帯員1人当たり100万円加算※） ※令和5年度から18歳未満の世帯員が帯同して移住された場合の加算額を30万円から100万円に増額 交付実績 世帯移住8件（うち子育て世帯加算4件） 単身移住：8件 計 16件 16,000,000円 6 脱ペーパードライバー支援補助金（R5新規事業） 石巻市に転入後、市内の自動車教習所でペーパードライバー講習を受講した方に対して受講料を助成 交付実績 9件90,500円																
成 果		移住促進イベントに参加し、本市の魅力を発信したほか、移住者からの要望による新たな支援制度の創設やお試し移住体験事業などの移住促進施策を実施したことで移住者が増加した。 移住対策事業を活用した移住者数 <table><tr><td>年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>目標</td><td></td><td>150名</td><td>150名</td></tr><tr><td>実績</td><td>76名</td><td>152名</td><td>165名</td></tr></table>					年度	R3	R4	R5	目標		150名	150名	実績	76名	152名	165名
年度	R3	R4	R5															
目標		150名	150名															
実績	76名	152名	165名															
成果に係る評価		移住を促進するため、首都圏で開催された移住促進イベント等に参加したほか、積極的にポータルサイトやSNS等を活用して情報発信を行ったことで、本市の魅力や移住施策等を広くPRすることができ、移住対策事業を活用した移住者数が増加した。 一方で人口減少を抑制していくためには、特に人口流出の多い若い世代の定住施策が必要である。																
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳													
					国(県)支出金	一般財源												
	101,720,040		95,304,071		12,130,335	23,377,736												
					地方債	59,796,000												

予算科目	2 款	総務費	事業名		地域おこし協力隊設置事業																									
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																									
	7 目	地域振興費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進																									
	事業	地域交流・定着支援等事業費		(1)	移住したくなるライフスタイルの形成を図る																									
担当部課		復興企画部SDGs移住定住推進課		実施計画掲載ページ		P13																								
目的及び事業内容		三大都市圏または政令指定都市等から、地域活性化に意欲があり本市に定住する意思のある人材を受け入れ、地域おこし協力隊として委嘱し、地域振興及び地域の活性化が図られる活動に従事しながら、本市への定住・定着を図る。																												
取 組 実 績	1 隊員数（令和6年3月31日現在）（単位：人）																													
	<table><tr><td>区分</td><td>配置目標数</td><td>隊員数</td><td>募集中</td></tr><tr><td>右腕型</td><td>14</td><td>8</td><td>6</td></tr><tr><td>地域課題提案型</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>計</td><td>17</td><td>10</td><td>7</td></tr></table>						区分	配置目標数	隊員数	募集中	右腕型	14	8	6	地域課題提案型	3	2	1	計	17	10	7								
	区分	配置目標数	隊員数	募集中																										
	右腕型	14	8	6																										
地域課題提案型	3	2	1																											
計	17	10	7																											
2 新規配置状況及び活動内容																														
【地域課題提案型】1名 50代男性（前住所：東京都文京区、R5.8.1委嘱） 活動内容：お試し移住体験施設「網地島マルホンハウス」の管理・運営、SNS等を活用した島の魅力発信																														
成 果	【右腕型】1名 20代男性（前住所：宮城県仙台市、R6.1.1委嘱） 活動内容：教育・人材育成の現場での活動や仕組みづくり																													
	3 隊員に対する活動支援																													
	・隊員それぞれにコーディネーターを配置し、面談等で活動状況等を把握するとともに、起業等に向けた指導・助言等を行った。 ・コーディネーターから、隊員と受入事業者の近況を報告してもらう場を毎月設けて情報共有を図った。 ・人材育成支援として、起業等に向けた研修を4回実施し、隊員同士が交流する場を設けたとともに、各隊員の活動内容等を共有した。 ・活動報告会を実施し、報告内容をポータルサイトに掲載して市民等に広く周知した。 ・県内で実施された地域おこし協力隊に関するイベントへ参加したほか市報に活動内容を掲載した。																													
	4 退任後の起業等支援 退任後の定住・定着を図るため、隊員が起業・事業承継した場合に、これに要する経費を補助する。 令和5年度は、年度内に起業・事業継承する者がいなかったため、交付実績なし																													
成 果		平成29年度から令和6年3月31日まで16名の方を委嘱し、任期満了等で6名が退任したが、そのうち5名が退任後も本市に定住・定着した。 ※()内は新規隊員数																												
		<table><tr><td>区分</td><td>処遇</td><td>委嘱人数</td><td>活動中</td><td>退任済</td><td>定着人数</td></tr><tr><td>右腕型</td><td>会計年度任用職員</td><td>14名(1名)</td><td>8名(1名)</td><td>6名</td><td>5名</td></tr><tr><td>地域課題提案型</td><td>個人事業主</td><td>2名(1名)</td><td>2名(1名)</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td>16名(2名)</td><td>10名(2名)</td><td>6名</td><td>5名</td></tr></table>					区分	処遇	委嘱人数	活動中	退任済	定着人数	右腕型	会計年度任用職員	14名(1名)	8名(1名)	6名	5名	地域課題提案型	個人事業主	2名(1名)	2名(1名)	-	-	計		16名(2名)	10名(2名)	6名	5名
区分	処遇	委嘱人数	活動中	退任済	定着人数																									
右腕型	会計年度任用職員	14名(1名)	8名(1名)	6名	5名																									
地域課題提案型	個人事業主	2名(1名)	2名(1名)	-	-																									
計		16名(2名)	10名(2名)	6名	5名																									
成果に係る評価		令和5年度に2名の地域おこし協力隊員が新たに加入し、定住・定着に向けて積極的に活動しているところであり、これまで任用した隊員についても、退任後の定着率が高く、移住定住促進に有効な施策であることから、隊員数を更に拡充していく。 隊員を募集するに当たり、全国他自治体においても多くの隊員募集がされており、本市が隊員募集開始しても応募が少なく、人材確保に苦慮していることから、募集方法等を工夫する必要がある。																												
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																									
					国(県)支出金	一般財源																								
	50,729,960		46,942,150			46,942,150																								

予算科目	2 款	総務費	事業名	ふるさとワーキングホリデー実施事業																											
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																										
	7 目	地域振興費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進																										
	事業	地域交流・定着支援等事業費		(1)	移住したくなるライフスタイルの形成を図る																										
担当部課		復興企画部 S D G s 移住定住推進課		実施計画掲載ページ		P 13																									
目的及び事業内容		都市部の若者等がおおむね2週間から1か月程度、働きながら本市に滞在し、地域の人たちとの交流等を通じ、関わりを深める機会を提供するふるさとワーキングホリデー事業を実施することで、関係人口の創出や将来的な移住の促進を図る。																													
取 組 実 績		1 ふるさとワーキングホリデー事業運営業務 委託期間R5.4.1～R6.3.31 (1) 委託先 一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン (2) 委託内容 ア 相談(問い合わせ)窓口の設置 イ 受入事業者の募集及び選定 ウ 参加者の募集(総務省ホームページ及び独自ポータルサイトへの募集情報の掲載、総務省が主催する説明会への参加) エ 地域との関わりを深める取組(交流イベント)の提供 (3) 連携団体 ア 一般社団法人 I S H I N O M A K I 2.0 ウェブ制作、広報、交流イベントの開催、観光(ゲストハウス)の受入運営 イ 株式会社街づくりまんぼう 交流イベントの開催、漫画関連企業の受入運営 ウ 一般社団法人イシノマキ・ファーム 交流イベントの開催、農業関連企業の受入運営 (4) 実績 ア 就労先及び参加人数 <table><tr><td>分野</td><td>受入事業者数</td><td>就労内容</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>漁業</td><td>4団体</td><td>わかめの種付け・選別、牡蠣の水揚げ、ホタテの耳吊り等</td><td>19人</td></tr><tr><td>農業</td><td>3団体</td><td>野菜の収穫・選別、出荷準備、イベントの手伝い等</td><td>7人</td></tr><tr><td>観光</td><td>2団体</td><td>ゲストハウスの運営補助等</td><td>6人</td></tr><tr><td>漫画</td><td>1団体</td><td>街づくり業務、マップ作成、インタビュー等</td><td>3人</td></tr><tr><td>計</td><td>10団体</td><td></td><td>35人</td></tr></table> 平均年齢：23.5歳 イ 地域との関わりを深める取組(交流イベント) 中心市街地街歩き、漁師と半島ドライブ、カヌー体験、農業体験、地域の若者との交流会、ビール工場見学、田代島巡り等						分野	受入事業者数	就労内容	参加者数	漁業	4団体	わかめの種付け・選別、牡蠣の水揚げ、ホタテの耳吊り等	19人	農業	3団体	野菜の収穫・選別、出荷準備、イベントの手伝い等	7人	観光	2団体	ゲストハウスの運営補助等	6人	漫画	1団体	街づくり業務、マップ作成、インタビュー等	3人	計	10団体		35人
分野	受入事業者数	就労内容	参加者数																												
漁業	4団体	わかめの種付け・選別、牡蠣の水揚げ、ホタテの耳吊り等	19人																												
農業	3団体	野菜の収穫・選別、出荷準備、イベントの手伝い等	7人																												
観光	2団体	ゲストハウスの運営補助等	6人																												
漫画	1団体	街づくり業務、マップ作成、インタビュー等	3人																												
計	10団体		35人																												
成 果		年間を通して、多様な業種の就労場所や地域との関わりを深める機会を提供したことで、これまで本市を訪れたことがない多くの参加者に本市の魅力を知ってもらいきっかけを作ることができた。 参加者に行うアンケート調査において再度本市を訪れたいと回答した参加者の割合 <table><tr><td>年度</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>目標</td><td>80%</td><td>80%</td></tr><tr><td>実績</td><td>96%</td><td>94%</td></tr></table>						年度	R4	R5	目標	80%	80%	実績	96%	94%															
年度	R4	R5																													
目標	80%	80%																													
実績	96%	94%																													
成果に係る評価		20代の学生の参加が多かったことから、若者の移住促進に向けて、本事業によって得たつながりを継続していくとともに、各産業の担い手育成事業やその他の移住施策につなげていく必要がある。																													
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																										
					国(県)支出金	地方債	その他																								
	14,997,000		14,996,300				14,996,300																								

予算科目	2 款	総務費	事業名	ずっと住みたい地域づくり支援事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実		
	事業	ずっと住みたい地域づくり支援事業費		(1)	コミュニティ活動の活性化を図る		
担当部課		市民生活部地域協働課	実施計画掲載ページ		P11		
目的及び事業内容		地域の特徴を生かした地域住民自身の意思に基づきまちづくりや住民自治の確立を目指し、市民と行政による協働のまちづくりを推進するため住民自治組織の設立を進める。 震災により甚大な被害を受け地域コミュニティが崩壊した中で、新たな住民主体の活動にかかる意識醸成が難しい地域もあるが、各地域の実情を考慮しながら、市内全域での住民自治組織設立に向け支援を行うもの。					
取 組 実 績		【住民自治組織設立及び支援に関する取組】 住民自治組織の設立を推進するため、未設立の地区に対して、住民への事業説明を実施することにより、準備会及び住民自治組織の設立を推進した。 また、設立された住民協議会に対しては、NPOによる住民自治組織サポート事業を実施することで、住民自治組織設立後の円滑な組織運営が行われた。 1 準備組織の設立及び補助金の交付 (1) R5.9.13 渡波地区まちづくり協議会設立準備会 117,709円（被災者支援総合交付金） (2) R6.2.15 稲井まちづくり協議会設立準備会 年度末に設立のためR5年度は補助金交付申請なし (3) R6.3.12 雄勝まちづくり協議会設立準備会 年度末に設立のためR5年度は補助金交付申請なし (4) R6.3.25 河北まちづくり協議会設立準備会 年度末に設立のためR5年度は補助金交付申請なし ※渡波地区はR6.3.11に渡波地区まちづくり協議会設立。稲井・雄勝・河北地区はR6年度の住民自治組織設立に向け、協議を継続した。 2 住民自治組織サポート事業（特定非営利活動法人ばんぷきんふれあい会） (1) 湊地区 住民協議会運営支援、会議実施、事業支援、広報誌作成 委託料 1,820,400円（被災者支援総合交付金）					
成 果		【設立された住民自治組織への支援】 住民自治組織交付金を交付し、住民自治組織の活動に対する支援を行った。各組織では、交付金を活用し、地域課題の解決やお祭りなどの地域交流事業を実施し、地域コミュニティの活性化が図られた。 1 住民自治組織交付金 (1) 山下地区 山下地区協働のまちづくり協議会 1,431,793円 (2) 湊地区 湊地区まちづくり協議会 1,179,000円（被災者支援総合交付金） (3) 渡波地区 渡波地区まちづくり協議会 162,229円（被災者支援総合交付金） (4) 蛇田地区 蛇田地区住民協議会 1,074,461円（被災者支援総合交付金） (5) 河南地区 河南地域住民自治協議会 2,303,000円 (6) 桃生地区 ものう夢ネットワーク 1,237,074円 (7) 北上地区 みらいパートナーズきたかみ 458,134円（被災者支援総合交付金） 合計額 7,845,691円					
成果に係る評価		住民自治組織の活動に対する助成を行うことにより、地区における課題の解決、住民同士の交流の促進など地域コミュニティの活性化が図られた。 その一方で、住民自治組織の設立数は市内16地区のうち7地区にとどまっており、今後は未設立地区の住民に対する意識醸成を推進するとともに、行政側からの組織設立に向けた積極的な働きかけ及びサポートを行い、新規組織設立を推進する必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		13,360,000	9,783,800	4,811,000		4,000,000	972,800

予算科目	2 款	総務費	事業名		離島振興対策事業																		
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																		
	8 目	離島振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																		
	事業	離島振興対策費		(2)	地域の均衡ある発展を図る																		
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ		P 12																	
目的及び事業内容			既存の観光施設や地理的条件を生かした自然環境を有効に活用し、本市の離島（田代島、網地島）の魅力を広く発信することにより、交流人口の更なる拡大を目指す。島民及び県内離島保有市町と連携し、島の現状に即した事業を行い離島振興及び活性化を図る。																				
取 組 実 績			離島振興対策事業として、島民及び県内離島保有市町との連携を図り、下記のとおり実施した。 1 関係市町とのアイランダーへの出展 実施日：令和5年11月17日～11月19日 場 所：池袋・サンシャインシティ 文化会館ビル2階 展示ホールD 内 容：来場者への P R、観光マップの配布、島内限定グッズの配布、観光動画の上映ほか 2 宮城県及び宮城県議会への要望活動 実施日：令和5年12月4日 場 所：宮城県庁舎、宮城県議会庁舎 内 容：離島地域における医療の確保及び医療体制の充実、医療維持のための財政支援ほか5件 3 網地島観光パンフレット等の作成 内 容：島内のさまざまな情報を紹介するパンフレット、うちわ、ポスターを作成 活 用：各公共施設等で広く観光情報を発信																				
成 果			交流人口については、新型コロナウイルス感染症の終息に伴い回復傾向にあり、目標値は達成されていないものの、令和5年度は33,670人となり、前年度比で7,000人程度の増加となった。 田代島及び網地島への交流人口 <table><tr><td>年度</td><td>目標値</td><td>実績等</td><td>達成率</td></tr><tr><td>R3</td><td>45,001人</td><td>21,852人</td><td>48.6%</td></tr><tr><td>R4</td><td>51,323人</td><td>26,635人</td><td>51.9%</td></tr><tr><td>R5</td><td>53,889人</td><td>33,670人</td><td>62.5%</td></tr></table>					年度	目標値	実績等	達成率	R3	45,001人	21,852人	48.6%	R4	51,323人	26,635人	51.9%	R5	53,889人	33,670人	62.5%
年度	目標値	実績等	達成率																				
R3	45,001人	21,852人	48.6%																				
R4	51,323人	26,635人	51.9%																				
R5	53,889人	33,670人	62.5%																				
成果に係る評価			交流人口の目標値達成に向けて、離島の魅力などを伝えることができる、首都圏で開催されるアイランダーに島民や地元業者と協力して参加するなど、離島振興及び活性化を図るため事業を推進している。																				
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	1,301,400	1,202,946			229,081	973,865																	

予算科目	2 款	総務費	事業名		離島航路維持事業																																									
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																									
	8 目	離島振興費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進																																									
	事業	離島振興対策費		(2)	市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する																																									
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ		P 20																																								
目的及び事業内容			田代島・網地島と本土を結ぶ航路は島民の交通手段、生活物資の輸送手段として、重要な生活基盤であるとともに、近年は離島を訪れる観光客が増加していることから、安定的な運航維持のため、航路事業者に支援を行うとともに島民を対象とした運賃割引実施に対する補助を行う。																																											
取 組 実 績			1 離島航路維持費補助金の交付 航路事業者の安定的な運航経営を図るため、国、宮城県と協調しながら、航路維持費の欠損分に対して補助金を交付した。 【補助金交付実績】 <table><tr><th>年度</th><th>欠損額</th><th>国補助金</th><th colspan="2">市補助金</th><th colspan="2"></th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><th>県補助金</th><th colspan="2">一般財源</th></tr><tr><td>R3</td><td>245,454,987</td><td>131,651,730</td><td>113,803,257</td><td>40,826,724</td><td>72,976,533</td></tr><tr><td>R4</td><td>257,424,899</td><td>139,562,537</td><td>117,862,362</td><td>40,821,364</td><td>77,040,998</td></tr><tr><td>R5</td><td>257,824,928</td><td>131,710,543</td><td>126,114,385</td><td>40,795,508</td><td>85,318,877</td></tr></table> 2 離島航路経営安定化補助金の交付 夜間の救急患者搬送に備えた、田代島への船舶及び船員の待機に要する費用のほか、離島住民運賃割引に係る減収分に対して補助金を交付した。 【補助金交付実績】 <table><tr><th>年度</th><th>市補助金 (一般財源)</th></tr><tr><td>R3</td><td>4,481,140</td></tr><tr><td>R4</td><td>4,353,890</td></tr><tr><td>R5</td><td>5,054,655</td></tr></table>					年度	欠損額	国補助金	市補助金							県補助金	一般財源		R3	245,454,987	131,651,730	113,803,257	40,826,724	72,976,533	R4	257,424,899	139,562,537	117,862,362	40,821,364	77,040,998	R5	257,824,928	131,710,543	126,114,385	40,795,508	85,318,877	年度	市補助金 (一般財源)	R3	4,481,140	R4	4,353,890	R5	5,054,655
年度	欠損額	国補助金	市補助金																																											
			県補助金	一般財源																																										
R3	245,454,987	131,651,730	113,803,257	40,826,724	72,976,533																																									
R4	257,424,899	139,562,537	117,862,362	40,821,364	77,040,998																																									
R5	257,824,928	131,710,543	126,114,385	40,795,508	85,318,877																																									
年度	市補助金 (一般財源)																																													
R3	4,481,140																																													
R4	4,353,890																																													
R5	5,054,655																																													
成 果			離島航路利用者については、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していたが、令和5年度は80,528人となり、前年度より13,498人増加している。 <table><tr><th>年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>離島航路利用者数</td><td>104,281人</td><td>64,188人</td><td>57,240人</td><td>67,030人</td><td>80,528人</td></tr></table>					年度	R1	R2	R3	R4	R5	離島航路利用者数	104,281人	64,188人	57,240人	67,030人	80,528人																											
年度	R1	R2	R3	R4	R5																																									
離島航路利用者数	104,281人	64,188人	57,240人	67,030人	80,528人																																									
成果に係る評価			航路事業者に対する航路維持費の欠損分に対する補助や、夜間救急患者搬送に備えた補助などを継続的に実施することにより、島民が安心・安全に生活できる環境を維持することができている。 また、国・宮城県・市及び事業者で組織する「石巻～長渡航路確保維持協議会」で本航路運営に係る課題についての情報共有を行い、今後の利用者増加に向けた対策等について、連携して取り組んでいく。 令和4年度、令和5年度と新型コロナウイルス感染症の終息に伴い利用者数の増加も見られることから、今後は島民のほか観光利用者の増加、利便性の向上を図りながら、引き続き離島航路の安定的な維持に努めていく。																																											
(単位：円)																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	153,910,000	131,169,040	40,795,508		95,264	90,278,268																																								

予算科目	2 款	総務費	事業名		路線バス運行維持対策補助事業																																																							
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																																							
	9 目	地域交通費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進																																																							
	事業	地域交通対策関係費		(2)	市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する																																																							
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ		P 19																																																						
目的及び事業内容		株式会社ミヤコーバスが運行する広域路線バス（複数の市町（旧町含む）にまたがる路線）及び市単独路線バス（旧市内のみ運行する路線）の運行費を一部補助することで、持続可能な路線バスの運行を支援する。																																																										
取組実績		地域の実情に応じた交通手段を確保、維持するため、運行事業者に対し運行費補助を行った。 令和5年度路線バス運行維持対策補助実績																																																										
		<table><thead><tr><th colspan="2">路線名</th><th>運行経路（系統）</th><th>補助金額</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="7">広域 バス 路線</td><td>石巻免許センター線</td><td>石巻駅前～石巻あゆみ野駅～日赤病院</td><td>13, 240, 500円</td></tr><tr><td>河南線</td><td>石巻駅前～傘松～河南総合支所</td><td>14, 638, 442円</td></tr><tr><td>石巻専修大学線</td><td>石巻駅前～石巻専修大学～飯野川</td><td>11, 659, 023円</td></tr><tr><td>河北線</td><td>石巻あゆみ野駅～鹿又駅前～飯野川</td><td>20, 796, 423円</td></tr><tr><td rowspan="4">鮎川線</td><td>石巻駅前～簡場～鮎川港</td><td rowspan="4">27, 581, 407円</td></tr><tr><td>石巻駅前～サンファンパーク～鮎川港</td></tr><tr><td>イオン石巻東店～荻浜～鮎川港</td></tr><tr><td>イオン石巻東店～サンファンパーク～鮎川港</td></tr><tr><td>女川線</td><td>石巻駅前～簡場～女川運動公園前</td><td>5, 030, 233円</td></tr><tr><td rowspan="8">市単独 路線</td><td>石巻専修大学線</td><td>石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館</td><td>4, 633, 000円</td></tr><tr><td>中里線</td><td>石巻駅前～中里六丁目～石巻あゆみ野駅</td><td>9, 259, 000円</td></tr><tr><td rowspan="2">山下門脇線</td><td>石巻駅前～門脇五丁目～石巻駅前</td><td>813, 000円</td></tr><tr><td>石巻駅前～いしのまき元気いちば～石巻駅前</td><td>3, 808, 000円</td></tr><tr><td rowspan="2">石巻日赤線</td><td>石巻駅前～蛇田～日赤病院</td><td>2, 012, 000円</td></tr><tr><td>石巻駅前～イオンモール石巻～日赤病院</td><td>1, 397, 000円</td></tr><tr><td rowspan="2">鹿妻線</td><td>石巻駅前～さくら町西～イオン石巻東店</td><td>5, 744, 000円</td></tr><tr><td>石巻駅前～いしのまき元気いちば～イオン石巻東店</td><td>15, 173, 000円</td></tr><tr><td>石巻渡波線</td><td>石巻駅前～不動町一丁目～イオン石巻東店</td><td>4, 885, 000円</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>合計</td><td>140, 670, 028円</td></tr></tbody></table>						路線名		運行経路（系統）	補助金額	広域 バス 路線	石巻免許センター線	石巻駅前～石巻あゆみ野駅～日赤病院	13, 240, 500円	河南線	石巻駅前～傘松～河南総合支所	14, 638, 442円	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～飯野川	11, 659, 023円	河北線	石巻あゆみ野駅～鹿又駅前～飯野川	20, 796, 423円	鮎川線	石巻駅前～簡場～鮎川港	27, 581, 407円	石巻駅前～サンファンパーク～鮎川港	イオン石巻東店～荻浜～鮎川港	イオン石巻東店～サンファンパーク～鮎川港	女川線	石巻駅前～簡場～女川運動公園前	5, 030, 233円	市単独 路線	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館	4, 633, 000円	中里線	石巻駅前～中里六丁目～石巻あゆみ野駅	9, 259, 000円	山下門脇線	石巻駅前～門脇五丁目～石巻駅前	813, 000円	石巻駅前～いしのまき元気いちば～石巻駅前	3, 808, 000円	石巻日赤線	石巻駅前～蛇田～日赤病院	2, 012, 000円	石巻駅前～イオンモール石巻～日赤病院	1, 397, 000円	鹿妻線	石巻駅前～さくら町西～イオン石巻東店	5, 744, 000円	石巻駅前～いしのまき元気いちば～イオン石巻東店	15, 173, 000円	石巻渡波線	石巻駅前～不動町一丁目～イオン石巻東店	4, 885, 000円		
路線名		運行経路（系統）	補助金額																																																									
広域 バス 路線	石巻免許センター線	石巻駅前～石巻あゆみ野駅～日赤病院	13, 240, 500円																																																									
	河南線	石巻駅前～傘松～河南総合支所	14, 638, 442円																																																									
	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～飯野川	11, 659, 023円																																																									
	河北線	石巻あゆみ野駅～鹿又駅前～飯野川	20, 796, 423円																																																									
	鮎川線	石巻駅前～簡場～鮎川港	27, 581, 407円																																																									
		石巻駅前～サンファンパーク～鮎川港																																																										
		イオン石巻東店～荻浜～鮎川港																																																										
イオン石巻東店～サンファンパーク～鮎川港																																																												
女川線	石巻駅前～簡場～女川運動公園前	5, 030, 233円																																																										
市単独 路線	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館	4, 633, 000円																																																									
	中里線	石巻駅前～中里六丁目～石巻あゆみ野駅	9, 259, 000円																																																									
	山下門脇線	石巻駅前～門脇五丁目～石巻駅前	813, 000円																																																									
		石巻駅前～いしのまき元気いちば～石巻駅前	3, 808, 000円																																																									
	石巻日赤線	石巻駅前～蛇田～日赤病院	2, 012, 000円																																																									
		石巻駅前～イオンモール石巻～日赤病院	1, 397, 000円																																																									
	鹿妻線	石巻駅前～さくら町西～イオン石巻東店	5, 744, 000円																																																									
		石巻駅前～いしのまき元気いちば～イオン石巻東店	15, 173, 000円																																																									
石巻渡波線	石巻駅前～不動町一丁目～イオン石巻東店	4, 885, 000円																																																										
		合計	140, 670, 028円																																																									
成果		パターンダイヤ化や山下門脇線の右周りの再開等を実施したことにより、前年度より年間の利用者数が8, 404人増加し269, 759人となった。 広域バス路線については、国庫補助の対象となる1日当たりの輸送量が15人以上の路線は2路線2系統（広域バス路線の石巻免許センター線と石巻専修大学線）となっており、今後も継続して補助対象路線の利用率向上に向けて取り組む。																																																										
		<table><thead><tr><th>年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr></thead><tbody><tr><td>広域バス路線・系統数</td><td>6路線6系統</td><td>6路線6系統</td><td>6路線6系統</td></tr><tr><td>うち1日あたりの輸送量が15人以上の路線・系統数</td><td>1路線1系統</td><td>2路線2系統</td><td>2路線2系統</td></tr></tbody></table>						年度	R3	R4	R5	広域バス路線・系統数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統	うち1日あたりの輸送量が15人以上の路線・系統数	1路線1系統	2路線2系統	2路線2系統																																									
年度	R3	R4	R5																																																									
広域バス路線・系統数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統																																																									
うち1日あたりの輸送量が15人以上の路線・系統数	1路線1系統	2路線2系統	2路線2系統																																																									
成果に係る評価		人口減少が進む中で、路線バス利用者が前年度よりも増加しており、石巻市総合交通計画に基づき実施した施策等の効果が表れているものと考えられる。 引き続き、総合交通計画に基づき各種施策を実施することで、利用者数の増加を図っていく。																																																										
(単位：円)																																																												
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																								
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																					
		142, 472, 000	140, 670, 028				140, 670, 028																																																					

予算科目	2 款	総務費	事業名		住民バス運行費補助事業	
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち	
	9 目	地域交通費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進	
	事業	地域交通対策関係費		(2)	市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する	
担当部課		復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P 19	
目的及び事業内容		地域公共交通は、少子高齢化の進行等に伴い、利用者が減少している現状であることから、地域住民で組織する運行協議会が運行する住民バス等の運行費に対し補助を行い、日常生活に必要な不可欠な地域公共交通を維持する。				
取 組 実 績		地域の住民バスを運行する運行協議会に対し、補助金を交付した。 令和5年度運行協議会別補助金の状況				
		名 称	運行主体	運行形態	補助金額	
		荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	定時定路線	4, 826, 890円	
		稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	定時定路線	8, 294, 319円	
		山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	デマンド	3, 644, 220円	
		水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー運行協議会	デマンド	3, 494, 013円	
		河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	定時定路線 デマンド	7, 078, 342円	
		雄勝地区住民バス	雄勝地区住民バス運行協議会	定時定路線 デマンド	21, 176, 524円	
		河南地区乗合タクシー	河南地区乗合タクシー運行協議会	デマンド	6, 552, 327円	
		桃生地区住民バス・ワンコインタクシー	桃生地区住民バス運行協議会	定時定路線 デマンド	11, 774, 848円	
		北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	定時定路線	14, 995, 720円	
		合 計			81, 837, 203円	
成 果		住民バス及び乗合タクシーの運行費に対する補助を行ったことで、地域住民の移動手段を確保した。				
		名 称	R4		R5	
			利用者数	便数	利用者数	便数
		荻浜地区住民バス	646人	294便	492人	284便
		稲井地域乗合タクシー	5, 611人	3, 390便	5, 896人	3, 077便
		山の手地区乗合タクシー	4, 600人	3, 212便	4, 842人	3, 274便
		水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	5, 487人	3, 673便	5, 114人	3, 394便
		河北地区住民バス	2, 577人	1, 472便	2, 734人	1, 680便
		雄勝地区住民バス	8, 802人	4, 031便	6, 478人	3, 921便
		河南地区乗合タクシー	3, 654人	2, 639便	3, 434人	2, 398便
		桃生地区住民バス・ワンコインタクシー	2, 892人	2, 326便	4, 929人	4, 015便
		北上地区住民バス	4, 441人	1, 928便	4, 584人	1, 920便
		合 計	38, 710人	22, 965便	38, 503人	23, 963便
成果に係る評価		新型コロナウイルス感染症の終息に伴い利用者数が回復した地区もある中、少子化による通学利用者の減少等で利用者数が減少した地区もあり、全体として利用者数は微減となった。 住民バス・乗合タクシーについては、地域住民の通院・買物等の移動手段として活用され、地域の足として重要な役割を果たしていることから、運行形態の見直しにより利便性を向上させるなど、課題改善に取り組み、利用者の増加及び運行経費の削減に努めていく。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	84, 810, 000	81, 837, 203	1, 571, 000			80, 266, 203

予算科目	2 款	総務費	事業名		公共交通路線再編及び利用促進事業														
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち														
	9 目	地域交通費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進														
	事業	地域交通対策関係費		(1)	持続可能な公共交通体系を構築する														
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ		P 19													
目的及び事業内容			令和3年度に策定した石巻市総合交通計画に基づき、各地区の住民バス（乗合タクシー含む。）及び市民バスと路線バスの接続性、運行形態、ダイヤ、運賃体制などを総合的に見直すとともに、公共交通の利用促進に向けたモビリティマネジメントを推進する。																
取 組 実 績			株式会社ミヤコーバスが運行する路線バスのパターンダイヤ化及び山下門脇線の右回りの再開を実現したほか、稲井、河北、雄勝、桃生及び北上の各地区の住民バス・乗合タクシーの見直しを行った。 また、公共交通の利用促進に取り組んだ。 1 総合的な見直しを行った路線 (1) 山下門脇線（ミヤコーバス） (8) 石巻渡波線（ミヤコーバス） (2) 蛇田線（ミヤコーバス） (9) 稲井地域乗合タクシー (3) 河南線（ミヤコーバス） (10) 河北地区住民バス (4) 石巻日赤線（ミヤコーバス） (11) 雄勝地区住民バス (5) 鮎川線（ミヤコーバス） (12) 桃生地区住民バス (6) 女川線（ミヤコーバス） (13) 北上地区住民バス (7) 鹿妻線（ミヤコーバス） 2 公共交通利用促進事業 (1) 公共交通利用促進デーの実施 (2) 子どもセンターと合同でワークショップ「公共交通をもっと使いやすくしよう！作戦会議」を開催 (3) 路線バスの運行情報のオープンデータ化																
成 果			上記事業の実施により、バスの効率的な運行に向けた検討が進められたほか、公共交通に対する市民意識の改善が図られた。 また、路線バスの運行情報のオープンデータ化により、民間企業が提供するアプリやウェブサイトでの市内の経路検索を行った際に、路線バスを使用したルートや運賃が確認できるようになり、利便性が向上した。 1 総合的な見直しを行った路線数 <table><tr><td>年度</td><td>目標値</td><td>実績等</td></tr><tr><td>R5</td><td>6路線</td><td>13路線</td></tr></table> 2 公共交通利用促進事業 <table><tr><td>年度</td><td>目標値</td><td>実績等</td></tr><tr><td>R5</td><td>2件</td><td>3件</td></tr></table>					年度	目標値	実績等	R5	6路線	13路線	年度	目標値	実績等	R5	2件	3件
年度	目標値	実績等																	
R5	6路線	13路線																	
年度	目標値	実績等																	
R5	2件	3件																	
成果に係る評価			地域交通に知見のある専門委員からの助言等を活用し、総合交通計画に位置付けられている施策を予定どおり実施できている。今後も、専門委員等の意見を取り入れ、利便性を向上させることで、日常の移動手段として選ばれる公共交通を目指し事業を推進していく。																
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳														
					国(県)支出金	地方債	その他												
	5,000,000		4,994,000				4,994,000												

予算科目	2 款	総務費	事業名	牡鹿地区市民バス運行事業																													
	1 項	総務管理費		総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																											
	9 目	地域交通費			第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進																											
	事業	牡鹿地区市民バス運行事業費			(2)	市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する																											
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ		P 20																											
目的及び事業内容		牡鹿地区住民の通院や買物等の日常生活における移動手段を確保するため、交通事業者がいない同地区で、市が運行主体となり、市民バスを運行することで、交通弱者等の地区内移動手段を確保する。																															
取 組 実 績		地域の実情に最適な交通手段の確保を目指し、市民バスの運行を行った。 近年、車両の老朽化により修繕費が増加していることから、車両1台を更新した。 運行概要 <table><tr><th>路線名</th><th colspan="3">運行状況</th></tr><tr><td>寄磯～鮎川線</td><td>平日 11便/日</td><td>土曜日 4便/日</td><td>(日・祝日・年末年始は原則運休)</td></tr><tr><td>泊～清優館線</td><td>平日 7便/日</td><td>土曜日 4便/日</td><td>(日・祝日・年末年始は原則運休)</td></tr><tr><td>泊～大原線</td><td>平日 1便/日</td><td>(土・日・祝日・年末年始は原則運休)</td><td></td></tr><tr><td>網地島線</td><td>5便/日</td><td colspan="2">(年末年始は原則運休)</td></tr></table>						路線名	運行状況			寄磯～鮎川線	平日 11便/日	土曜日 4便/日	(日・祝日・年末年始は原則運休)	泊～清優館線	平日 7便/日	土曜日 4便/日	(日・祝日・年末年始は原則運休)	泊～大原線	平日 1便/日	(土・日・祝日・年末年始は原則運休)		網地島線	5便/日	(年末年始は原則運休)							
路線名	運行状況																																
寄磯～鮎川線	平日 11便/日	土曜日 4便/日	(日・祝日・年末年始は原則運休)																														
泊～清優館線	平日 7便/日	土曜日 4便/日	(日・祝日・年末年始は原則運休)																														
泊～大原線	平日 1便/日	(土・日・祝日・年末年始は原則運休)																															
網地島線	5便/日	(年末年始は原則運休)																															
成 果		当該市民バスは、小学校までのスクールバスとしての機能も兼ねており、小学生の安全な通学手段が確保された。 令和5年度においては、バス路線の再編に関し検討を進め、現在の運行形態を維持した上で、ダイヤの見直しを行った。 市民バス運行実績 <table><tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>一般利用</td><td>9,963人</td><td>8,710人</td><td>7,522人</td></tr><tr><td>通学利用</td><td>7,148人</td><td>6,087人</td><td>5,227人</td></tr><tr><td>利用者数合計</td><td>17,111人</td><td>14,797人</td><td>12,749人</td></tr><tr><td>運行便数</td><td>7,639便</td><td>7,599便</td><td>7,653便</td></tr></table> 通学利用区間 <table><tr><th>路線名</th><th>利用区間</th></tr><tr><td>寄磯～鮎川線</td><td>寄磯～小淵(上り3便、下り3便)</td></tr><tr><td>泊～清優館線</td><td>鮎川金山～鮎川小(上り3便、下り4便)</td></tr></table>							R3	R4	R5	一般利用	9,963人	8,710人	7,522人	通学利用	7,148人	6,087人	5,227人	利用者数合計	17,111人	14,797人	12,749人	運行便数	7,639便	7,599便	7,653便	路線名	利用区間	寄磯～鮎川線	寄磯～小淵(上り3便、下り3便)	泊～清優館線	鮎川金山～鮎川小(上り3便、下り4便)
	R3	R4	R5																														
一般利用	9,963人	8,710人	7,522人																														
通学利用	7,148人	6,087人	5,227人																														
利用者数合計	17,111人	14,797人	12,749人																														
運行便数	7,639便	7,599便	7,653便																														
路線名	利用区間																																
寄磯～鮎川線	寄磯～小淵(上り3便、下り3便)																																
泊～清優館線	鮎川金山～鮎川小(上り3便、下り4便)																																
成果に係る評価		利用者が年々減少しており、令和6年4月より寄磯～鮎川線の上りを1便増便するとともに、地域のニーズを反映したダイヤの見直しを行い、利便性の向上を図っていく。																															
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	35,128,000	34,496,807	60,000	3,600,000	1,058,735	29,778,072																											

予算科目	2 款	総務費	事業名		男女共同参画推進事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
	10 目	男女共同参画推進費		第 4 節	誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進			
	事業	男女共同参画推進費		(1)	政策・方針決定の場への女性の参画を推進する			
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ		P 18		
目的及び事業内容			すべての個人が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受し、かつ共に責任を担うべき社会を目指す「男女共同参画社会」の実現を図るため、女性人材育成事業、女性活躍推進事業、子育て参加促進事業及び啓発事業（性的マイノリティ研修、男女共同参画基本計画進行管理等）を実施する。					
取 組 実 績			1 石巻市男女共同参画基本計画(第4次:令和3年度～令和7年度)の進捗管理 (1) 令和4年度の事業実施状況を把握・検証 (2) 石巻市男女共同参画推進審議会へ諮問し、「概ね妥当」との答申を得た。 2 石巻市男女共同参画基本計画(第4次)に基づいて、各種男女共同参画推進事業を実施【開催事業等実績】					
			事業名		内容			
			男女共同参画週間啓発事業		・男女共同参画パネル展示（6/1～6/23 石巻市役所1階イオン店舗内通路） ・啓発チラシ入りのポケットティッシュ配布（6/23 石巻駅前） ・庁舎内電子掲示板に掲載（6/16～6/29 石巻市役所2階市民課前）			
			高校生のための性教育講話		【実 施 日】 8/31、10/5、12/14 【場 所】 石巻市立桜坂高校 【対 象 者】 石巻市立桜坂高校の全学年 【参加人数】（1学年）103名（2学年）130名（3学年）107名			
			女性人材育成セミナー		【実 施 日】 10/7、10/18、11/1、11/4、11/15、11/25 【場 所】 石巻市水産総合振興センターほか2か所 【対 象 者】 市内に居住又は通勤・通学する18歳以上の女性 【参加人数】（平日コース）延べ81名（休日コース）延べ70名			
			性的マイノリティ研修		【実 施 日】 1/17 【場 所】 石巻市ささえあいセンター 【対 象 者】 一般市民、市議会議員、市職員、市立小中高の教職員 【参加人数】 研修参加者 104名、動画視聴者 7名			
成 果			石巻市男女共同参画基本計画（第4次）に基づく各種施策の実施により、男女共同参画社会の形成の促進や意識啓発が図られた。					
			主な評価指標項目		R3	R4	R5	目標値
成果に係る評価			審議会・委員会等への女性委員の割合		28.0%	27.8%	28.1%	40%
			「男女共同参画社会」という言葉を知っている人の割合		76.6%	78.2%	82.0%	100%
			「育児や家事の割合」について「夫婦同様」との回答割合		49.9%	66.1%	72.4%	70%
			性的マイノリティ又はLGBTという言葉を知っている割合		75.8%	75.5%	87.4%	100%
成果に係る評価			第4次石巻市男女共同参画基本計画の目標達成状況は、21項目中5項目となっているが、目標を達成できていない項目においても、少しずつ実績を伸ばしつつあることから、男女共同参画推進審議会から「概ね妥当」との評価をいただいた。 男女共同参画社会の実現のためには、性別や年代等関係なく様々な立場の人々の意識醸成が必要なこととから、今後も啓発セミナー等を実施し、意識啓発を図っていく。					
(単位：円)								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		1,219,000	1,006,820	334,000		672,820		

予算科目	2 款	総務費	事業名		親になるための教育事業		
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	10 目	男女共同参画推進費		第 4 節	誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進		
	事業	男女共同参画推進費		(2)	社会のあらゆる分野における意識啓発を図る		
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ		P 18	
目的及び事業内容		中学生を対象に助産師の講義と妊婦疑似体験を組み合わせた事業を実施することで、妊産婦への思いやりを育み、命の大切さや子供を産み育てることの意義について理解を促し、社会全体で出産や育児を支える環境づくりを目指す。					
取 組 実 績		一般社団法人宮城県助産師会による講義では、心と体の成長及び命を産み育てることについて医学的に学ぶとともに、助産師の実体験や経験に基づいた内容や事前アンケートにおける生徒からの質問に対する回答を盛り込むなど、生徒が興味や関心を持つように工夫した。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた、特定非営利活動法人ベビースマイル石巻による乳幼児とのふれあい体験を再開させた。 1 親になるための教育事業 (1) 対 象：実施を希望した市内中学校 12校 (2) 参 加 者：生徒 682名 親子 103組 (3) 内 容：【講義】 ・男女の体の違いや妊娠のしくみ ・思春期のころ ・性感染症、男女交際のあり方について ・多様性に対する啓発（性的マイノリティを含む） 【体験】 ・妊婦ジャケット着用体験 ・赤ちゃん人形抱っこ体験 ・乳幼児とのふれあい体験					
成 果		講義や妊婦疑似体験、乳幼児とのふれあい体験を通し、自らの体に対する認識を深めると同時に命や家族の大切さ、子育てに対する理解を深めることができた。 また、妊娠・出産・子育てを含めた自身の将来設計について、生徒自身が自分事として考えるきっかけを提供することができた。					
成果に係る評価		事業実施後のアンケートの結果において、生徒たちの満足度は高く、子育てに対する関心が「高まった」「やや高まった」との意見が約96％となり、生徒の子育てに対する理解を深めることができた。 疑似体験や乳幼児とのふれあい体験は、生徒や学校からも貴重な体験ができたという評価を得ており、引き続き、講義と体験を組み合わせた事業を実施し、命の大切さや子供を産み育てることの意義について、生徒の理解促進を図っていく。					
(単位：円)							
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳			
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		2,145,000	1,768,093	884,000		884,093	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	事業名		子育てしやすい職場環境整備推進事業		
	1 項	総務管理費		第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
	10 目	男女共同参画推進費		第 4 節	誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進			
	事業	男女共同参画推進費		(2)	社会のあらゆる分野における意識啓発を図る			
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ		P 18		
目的及び事業内容			社会全体で仕事・家事・育児等の両立を尊重する意識の醸成を目指すため、市内事業所の管理職層や市職員を対象に、子育て参加に対する理解促進講座と、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた仕事の効率化を図るためのスキル習得研修を実施する。					
取組実績			男性の育児を含むワーク・ライフ・バランスの実現に向けた社会全体の理解促進のためには、当人のスキルアップだけではなく、職場の管理職をはじめとする上司の、部下や同僚に対する理解を深める必要があることから、市内事業所の管理職層や市職員（新規ポスト課長補佐及びポスト係長）を対象にイクボス研修及び女性活躍推進セミナーを同日開催した。					
			【開催日】 令和6年3月22日 【場 所】 石巻市ささえあいセンター					
			研修		テーマ及び内容		受講者	
			1 イクボス研修	【テーマ】イクボスのススメ ～部下や自身も輝く職場づくり～ 【内 容】 ・イクボスとは ・仕事の効率化スキルの事例など	市内事業所の管理職層 7名 市職員 76名 動画視聴者 47名 計 130名			
2 女性活躍推進セミナー	【テーマ】職場環境の改善～女性活躍に向けて～ 【内 容】 ・女性活躍推進上の課題 ・国、県の施策など							
成果			研修やセミナーを通して、男性の家事・育児に関する理解促進や、働き方に対する男女の意識改革、ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境の整備促進に向けた意識醸成が図られた。 また、女性活躍推進を図る上での課題や、女性が子育てをしながら働き続けられる職場環境の事例紹介等により、職場だけでなく、社会全体としての意識改革を図ることができた。					
成果に係る評価			事業実施後のアンケートにおいて、「家庭での家事・育児の分担について意識が変わった」、「セミナーを受講したことで、女性活躍推進に関する意識が向上した」との回答を多くいただき、男性の家事・育児に関する理解促進や就業環境の整備に対する意識醸成を図ることができた。 今後は、市内事業所からの参加者の増加を図るため、研修やセミナー内容の充実を図るとともに、SNSなどを活用した情報発信の強化を図る。					
（単位：円）								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		312,000	198,000	99,000		99,000		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	事業名			国際姉妹都市・友好都市交流推進事業		
	1 項	総務管理費		第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち				
	11 目	国際交流費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実				
	事業	国際交流推進費		(3)	友好都市等との交流を推進する				
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ			P 12		
目的及び事業内容		国際姉妹都市・友好都市とスポーツ交流や青少年間の交流事業等を通じて、両市への理解と交流を深めるとともに、議定書に基づく両市の友好親善と協力関係の発展を図る。。							
取 組 実 績		【イタリア・チビタベッキア市】 事業実施なし ※コロナ禍前に実施していた交流事業（高校生の海外派遣研修）については、現在も受入・派遣体制が整っていない旨の申し出があったことから、今後の交流事業について、相手方の意向を確認しながら、引き続き調整していく。 【中国・温州市】 ・第7回いしのみき復興マラソンへの受入 受入日程：令和5年6月10日（土）～12日（月） 受入人数：4人（うち招待選手2人） 内 容：温州市の申し出により、温州市マラソン協会から選手4名が、本市で開催されたマラソン大会へ出場し、スポーツを通して市民間の交流を図った。 ・温州市人民政府外事弁公室とのオンライン協議 実施日：令和6年1月26日（金） 出席者：副主任ほか2名 内 容：令和6年に友好都市締結40周年を迎えるにあたり、相互派遣や記念事業等について、オンラインにて協議を実施した。							
成 果		【中国・温州市】 昨年度までは、新型コロナウイルスの影響により、オンラインによる交流を実施したが、令和5年度は温州市より本市のマラソン大会への受入が実現でき、市民レベルの相互理解を深める一助となった。							
成果に係る評価		より効果が高い交流事業となるよう実施方法等を工夫しながら、スポーツや青少年間の交流事業のほか、産業・観光などの分野においても交流事業が行えないか検討するとともに、行政間のみならず市民間における交流の促進を意識しながら事業を継続する必要がある。 【イタリア・チビタベッキア市】 今後の交流事業については、相手方の意向も踏まえ、対応していく。 【中国・温州市】 マラソン大会への参加や青少年間の交流など、今後も友好親善関係の更なる促進を図る。なお、対面交流が望ましい事業であるものの、コスト負担を考慮し、コロナ禍で得た新しい交流方法であるオンラインも活用しながら、交流促進を図っていく。							
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	1,067,000	945,574			945,574				

予算科目	2 款	総務費	事業名		諸外国との国際交流推進事業		
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	11 目	国際交流費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実		
	事業	国際交流推進費		(3)	友好都市等との交流を推進する		
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ		P 12	
目的及び事業内容		これまで友好関係を築いてきたチュニジアをはじめ、本市との交流を希望する諸外国からの訪問者を受入れ、異なる人種や文化に触れることにより、各国への理解を深めるとともに、国際感覚豊かな人材の育成を図る。					
取 組 実 績		1 駐日チュニジア特命全権大使の市長表敬 実施日：令和5年7月28日（金） 来訪者：駐日チュニジア共和国大使館 モハメッド エルーミ特命全権大使 2 チュニジア・日本友好協会会長一行の市長表敬 実施日：令和5年12月5日（火） 来訪者：チュニジア・日本友好協会 サラ ハンナシ 会長（元駐日チュニジア特命全権大使） チュニジア剣道連盟会 アフメド・ヌイセル 会長 ほか3名 3 駐新潟中国総領事による市長・議長表敬 実施日：令和6年1月17日（水） 来訪者：駐新潟中国総領事館 崔 為磊 総領事 ほか2名					
成 果		チュニジアについては、これまで実施してきた交流事業の貢献者の来訪により、改めて、双方の歴史を振り返るきっかけとなったとともに、今後も友好関係を築いていくことを確認した。 また、中国総領事の来訪については、友好都市である温州市との交流を支援いただけることを確認することができた。					
成果に係る評価		異なる人種や文化に触れることにより、国際感覚豊かな人材の育成を図るため、今後も本市との交流を希望する諸外国からの訪問者を受入れる必要がある。 特にチュニジアとの交流については、多くの市民に認知されている事業であり、これまで文化・スポーツなど様々な交流を実施してきたが、今後も相互理解が深められるよう努めていく。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	449, 000	92, 900			92, 900		

予算科目	2 款	総務費	事業名		外国人相談窓口開設事業																																					
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																					
	11 目	国際交流費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進																																					
	事業	国際交流推進費		(2)	国際社会に対応する安心な定住環境を整備する																																					
担当部課		復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ		P 14																																				
目的及び事業内容		本市に暮らす外国人が安心して生活できるよう、また地域住民の一員として日本人住民と共生できるよう支援することを目的とし、市内在住の外国人住民を対象に、外国人相談窓口を平日9時から17時まで開設する。外国人相談員のほか、多言語映像通訳アプリ「みえる通訳」導入により、13言語で対応している。 本窓口では、庁舎内での各種手続きに係る通訳補助のほか、市政情報の提供、市民生活全般にわたる相談に対応するとともに、専門的な関係機関の紹介等を行う。																																								
取 組 実 績		1 開設状況 (1) 水曜日：中国語（中国人通訳） (2) 木曜日：ベトナム語・英語(ベトナム人通訳) (3) 月～金曜日：日本語・英語・中国語・韓国語・タガログ語・ベトナム語・ネパール語・ロシア語・タイ語・ポルトガル語・インドネシア語・フランス語・ヒンディー語・スペイン語（多言語映像通訳アプリを活用） 2 開設場所 復興企画部地域振興課内 3 相談内容 (1) 行政手続きに係る通訳及び補助 (2) 生活全般に係る相談 (3) その他の相談（雇用問題、結婚、離婚及びDVに関する相談など） 4 国別相談件数 <table><tr><td>国名</td><td>ベトナム</td><td>フィリピン</td><td>イラン</td><td>中国</td><td>インドネシア</td><td>その他</td><td>合計件数</td></tr><tr><td>件数</td><td>41件</td><td>27件</td><td>10件</td><td>9件</td><td>8件</td><td>21件</td><td>116件</td></tr></table> 5 相談窓口の周知 市内商業施設3か所にある市政情報コーナーや、外国人がよく訪れる商業施設等5か所に掲示していたが、令和5年度は、新たに3か所追加し、計11か所に本窓口の周知ポスター等を掲示した。 また、市内の日本語教室や多文化共生推進事業実施時に、本窓口の周知カードを配布した。					国名	ベトナム	フィリピン	イラン	中国	インドネシア	その他	合計件数	件数	41件	27件	10件	9件	8件	21件	116件																				
国名	ベトナム	フィリピン	イラン	中国	インドネシア	その他	合計件数																																			
件数	41件	27件	10件	9件	8件	21件	116件																																			
成 果		1年間で外国人住民が200人程度増加したこと、また、外国人住民が多く住む地域の商業施設等で、本相談窓口の周知ポスターを掲示したり、日本語教室において周知を行ったことにより、昨年度より相談件数が増加した。庁舎内での各種手続きのサポートを始め、市民生活全般にわたる相談に対応するとともに、案件によっては当該のみならず関係機関と連携しながら、専門機関へ紹介するなど適切な支援に繋がった。 また、多言語映像通訳アプリ「みえる通訳」の活用により、マイナンバーカードの申請や健康保険の切替についてなど、やさしい日本語でも対応が困難な時に、相談者の母国語による対応をすることができた。 【市内在住外国人の状況】 各年度3月末現在 <table><tr><td>年度</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>人数</td><td>1,313人</td><td>1,358人</td><td>1,205人</td><td>1,375人</td><td>1,606人</td></tr></table> 【外国人相談件数】 <table><tr><td>年度</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>目標</td><td>50件</td><td>50件</td><td>50件</td><td>80件</td><td>100件</td></tr><tr><td>実績</td><td>32件</td><td>68件</td><td>93件</td><td>107件</td><td>116件</td></tr><tr><td>達成率</td><td>64%</td><td>136%</td><td>186%</td><td>134%</td><td>116%</td></tr></table>					年度	R1	R2	R3	R4	R5	人数	1,313人	1,358人	1,205人	1,375人	1,606人	年度	R1	R2	R3	R4	R5	目標	50件	50件	50件	80件	100件	実績	32件	68件	93件	107件	116件	達成率	64%	136%	186%	134%	116%
年度	R1	R2	R3	R4	R5																																					
人数	1,313人	1,358人	1,205人	1,375人	1,606人																																					
年度	R1	R2	R3	R4	R5																																					
目標	50件	50件	50件	80件	100件																																					
実績	32件	68件	93件	107件	116件																																					
達成率	64%	136%	186%	134%	116%																																					
成果に係る評価		年々外国人住民が増加傾向にあり、相談件数も増加しているため、今後も外国人住民が安心・安全に生活していけるよう、市が主体となって継続して相談窓口を開設する必要がある。 また、外国人住民の相談内容については、窓口での各種証明書発行のみならず、結婚・離婚・教育など生活に密着した相談への対応もあるため、外国人住民へのより一層丁寧かつ適切な対応を心掛け、本市での生活に不安や不便な思いを抱えないよう努めていく。																																								
(単位：円)																																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																					
					国(県)支出金	一般財源																																				
	964,000		833,751		416,672	417,079																																				

予算科目	2 款	総務費	事業名		日本語教室等開設事業																									
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																									
	11 目	国際交流費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進																									
	事業	国際交流推進費		(2)	国際社会に対応する安心な定住環境を整備する																									
担当部課		復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P 14																									
目的及び事業内容		本市に居住する外国人住民が安心・安全に暮らせる多文化共生社会の推進を図るため、外国人同士、そして外国人と日本人との相互理解を深めるための交流の場を提供するとともに、本市で生活する上で必要となる日本語、日本文化、風習等を楽しく学ぶ「じゃばneeds（にーず）塾」を実施すると共に、外国人を対象に日本語教室を運営している団体へ補助金を交付する。																												
取組実績	1 多文化共生推進事業「じゃばneeds（にーず）塾」 【開催実績】																													
	<table><tr><td>月日</td><td>講座内容</td><td>参加者</td><td>会場</td></tr><tr><td>令和5年8月20日</td><td>外国につながる親子の夏休み教室</td><td>7か国 30人</td><td>総合福祉会館みなと荘</td></tr><tr><td>令和5年9月11日</td><td>外国人住民と共に学ぶ防災教室</td><td>9か国 30人</td><td>石巻消防署</td></tr><tr><td>令和6年1月28日</td><td>節分料理をつくろう</td><td>4か国 20人</td><td>総合福祉会館みなと荘</td></tr><tr><td>令和6年3月17日</td><td>伝統工芸つまみ細工教室</td><td>5か国 40人</td><td>蛇田公民館</td></tr></table>						月日	講座内容	参加者	会場	令和5年8月20日	外国につながる親子の夏休み教室	7か国 30人	総合福祉会館みなと荘	令和5年9月11日	外国人住民と共に学ぶ防災教室	9か国 30人	石巻消防署	令和6年1月28日	節分料理をつくろう	4か国 20人	総合福祉会館みなと荘	令和6年3月17日	伝統工芸つまみ細工教室	5か国 40人	蛇田公民館				
	月日	講座内容	参加者	会場																										
	令和5年8月20日	外国につながる親子の夏休み教室	7か国 30人	総合福祉会館みなと荘																										
令和5年9月11日	外国人住民と共に学ぶ防災教室	9か国 30人	石巻消防署																											
令和6年1月28日	節分料理をつくろう	4か国 20人	総合福祉会館みなと荘																											
令和6年3月17日	伝統工芸つまみ細工教室	5か国 40人	蛇田公民館																											
2 外国人のための日本語教室開催 (1) 楽しい日本語教室の開催																														
<table><tr><td>教室</td><td>開講日</td><td>登録者数</td><td>年間開講回数</td><td>対象</td></tr><tr><td>かわべい教室</td><td>毎週月曜日</td><td>15か国 24人</td><td>39回</td><td>一般外国人</td></tr><tr><td>みなと荘教室</td><td>毎月第2・4日曜日</td><td>6か国 39人</td><td>24回</td><td>技能実習生・特定技能外国人</td></tr></table>						教室	開講日	登録者数	年間開講回数	対象	かわべい教室	毎週月曜日	15か国 24人	39回	一般外国人	みなと荘教室	毎月第2・4日曜日	6か国 39人	24回	技能実習生・特定技能外国人										
教室	開講日	登録者数	年間開講回数	対象																										
かわべい教室	毎週月曜日	15か国 24人	39回	一般外国人																										
みなと荘教室	毎月第2・4日曜日	6か国 39人	24回	技能実習生・特定技能外国人																										
(2) 研修会・交流会の開催 いちご祭り、琴体験、クリスマス交流会、書き初め体験、ボーリング大会などを実施																														
成果	じゃばneeds（にーず）塾では、防災や学校生活に関すること等をテーマに実施し、本市で生活する上で、必要となる知識や情報を参加者と共有することができた。また、参加者全員が同じ体験をすることで、自然に国籍を超えた対話が生まれ、相互理解を深める一助となった。 楽しい日本語教室においては、日本語学習のみならず体験学習も取り入れ、川開き祭り「大漁おどり」への参加やクリスマス会の実施など、四季と文化を感じられるイベントを通して、本市で暮らす外国人住民と日本人住民との交流を深める機会を創出することができた。																													
	◆かわべい教室																													
	<table><tr><td>年度</td><td>登録者数</td><td>出身国数</td><td>開講回数</td></tr><tr><td>R1</td><td>45人</td><td>16か国</td><td>33回</td></tr><tr><td>R2</td><td>16人</td><td>11か国</td><td>25回</td></tr><tr><td>R3</td><td>24人</td><td>10か国</td><td>38回</td></tr><tr><td>R4</td><td>24人</td><td>12か国</td><td>39回</td></tr><tr><td>R5</td><td>24人</td><td>15か国</td><td>39回</td></tr></table>						年度	登録者数	出身国数	開講回数	R1	45人	16か国	33回	R2	16人	11か国	25回	R3	24人	10か国	38回	R4	24人	12か国	39回	R5	24人	15か国	39回
	年度	登録者数	出身国数	開講回数																										
R1	45人	16か国	33回																											
R2	16人	11か国	25回																											
R3	24人	10か国	38回																											
R4	24人	12か国	39回																											
R5	24人	15か国	39回																											
◆みなと荘教室																														
<table><tr><td>年度</td><td>登録者数</td><td>出身国数</td><td>開講回数</td></tr><tr><td>R1</td><td>40人</td><td>4か国</td><td>24回</td></tr><tr><td>R2</td><td>29人</td><td>4か国</td><td>19回</td></tr><tr><td>R3</td><td>28人</td><td>6か国</td><td>24回</td></tr><tr><td>R4</td><td>23人</td><td>5か国</td><td>25回</td></tr><tr><td>R5</td><td>39人</td><td>6か国</td><td>24回</td></tr></table>						年度	登録者数	出身国数	開講回数	R1	40人	4か国	24回	R2	29人	4か国	19回	R3	28人	6か国	24回	R4	23人	5か国	25回	R5	39人	6か国	24回	
年度	登録者数	出身国数	開講回数																											
R1	40人	4か国	24回																											
R2	29人	4か国	19回																											
R3	28人	6か国	24回																											
R4	23人	5か国	25回																											
R5	39人	6か国	24回																											
成果に係る評価	外国人住民の声を直接聞く機会となる「じゃばneeds（にーず）塾」については、今後も継続する必要がある。「日本語教室」については、外国人住民が増加していることから、参加者の増加が見込まれるため、実施団体と必要な調整を行っていく。 両事業ともに普段関わりを持つことができない人と交流が持てる憩いの場にもなっており、引き続き、各種体験・交流イベントを実施し、市民と外国住民の交流機会の創出を図るとともに、参加者の相互理解が深められる場となるよう工夫しながら実施していく。																													
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	987,000	901,653			901,653																									

予算科目	2 款	総務費	事業名		交通安全推進事業																																														
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																														
		交通安全対策費		第 3 節	安心して暮らすための地域防災力などの向上																																														
		交通安全対策費		(3)	消防機能・交通安全を推進する																																														
担当部課	市民生活部地域協働課	実施計画掲載ページ		P 17																																															
目的及び事業内容			歩行者・運転者等へ交通安全意識の高揚を図り、交通安全運動の励行や飲酒運転の根絶を目指し、交通事故の撲滅を図る。 広く市民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるために警察機関、交通安全指導隊、交通安全母の会等の関係団体と連携し、各種行事等の開催やパトロール活動、周知活動、広報活動を推進し交通事故防止に寄与する。																																																
取組実績			警察機関及び交通安全推進機関と連携し、各期の交通安全運動の推進、運転者の安全運転励行の推進、交通安全意識の普及啓発活動を行った。 1 各種交通安全運動として下記の事業を実施した。 <table><tr><td>日 程</td><td>事 業 名</td><td>事 業 内 容</td></tr><tr><td>4月上旬</td><td>新入生児童に対する交通事故防止活動</td><td>ランドセルカバー、黄色い帽子的配布</td></tr><tr><td>5/11～5/20</td><td>春の交通安全運動</td><td>交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導隊等による街頭指導</td></tr><tr><td>7/21～8/20</td><td>夏の交通事故防止運動</td><td>市報掲載による広報</td></tr><tr><td>9/20～9/30</td><td>秋の交通安全運動</td><td>交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導隊等による街頭指導</td></tr><tr><td>10/1～1/31</td><td>夕暮れ時の交通事故防止運動</td><td>市報掲載による広報</td></tr><tr><td>11/22</td><td>石巻市交通安全大会</td><td>警察署及び自動車学校教官による交通事故防止に係る講話</td></tr><tr><td>12/1～2/28</td><td>冬の安全運転1・2・3運動</td><td>市報掲載による広報</td></tr><tr><td>12/1～12/31</td><td>年末の交通事故防止運動</td><td>交通安全指導隊等による街頭指導</td></tr></table> 2 飲酒運転根絶活動として下記の事業を実施した。 <table><tr><td>日 程</td><td>事 業 名</td><td>事 業 内 容</td></tr><tr><td>5/11～5/20</td><td>春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動</td><td>市報・市ホームページ掲載による広報</td></tr><tr><td>9/21～9/30</td><td>秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動</td><td>市報・市ホームページ掲載による広報</td></tr><tr><td>12/16～12/28</td><td>飲酒運転根絶広報</td><td>市役所2階電子掲示板による広報</td></tr><tr><td>12月下旬</td><td>飲酒運転根絶啓発チラシの作成配布</td><td>全戸配布による周知活動</td></tr><tr><td>12～3月 各22日</td><td>飲酒運転根絶広報</td><td>新聞掲載</td></tr></table>				日 程	事 業 名	事 業 内 容	4月上旬	新入生児童に対する交通事故防止活動	ランドセルカバー、黄色い帽子的配布	5/11～5/20	春の交通安全運動	交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導隊等による街頭指導	7/21～8/20	夏の交通事故防止運動	市報掲載による広報	9/20～9/30	秋の交通安全運動	交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導隊等による街頭指導	10/1～1/31	夕暮れ時の交通事故防止運動	市報掲載による広報	11/22	石巻市交通安全大会	警察署及び自動車学校教官による交通事故防止に係る講話	12/1～2/28	冬の安全運転1・2・3運動	市報掲載による広報	12/1～12/31	年末の交通事故防止運動	交通安全指導隊等による街頭指導	日 程	事 業 名	事 業 内 容	5/11～5/20	春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報・市ホームページ掲載による広報	9/21～9/30	秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報・市ホームページ掲載による広報	12/16～12/28	飲酒運転根絶広報	市役所2階電子掲示板による広報	12月下旬	飲酒運転根絶啓発チラシの作成配布	全戸配布による周知活動	12～3月 各22日	飲酒運転根絶広報	新聞掲載
日 程	事 業 名	事 業 内 容																																																	
4月上旬	新入生児童に対する交通事故防止活動	ランドセルカバー、黄色い帽子的配布																																																	
5/11～5/20	春の交通安全運動	交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導隊等による街頭指導																																																	
7/21～8/20	夏の交通事故防止運動	市報掲載による広報																																																	
9/20～9/30	秋の交通安全運動	交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導隊等による街頭指導																																																	
10/1～1/31	夕暮れ時の交通事故防止運動	市報掲載による広報																																																	
11/22	石巻市交通安全大会	警察署及び自動車学校教官による交通事故防止に係る講話																																																	
12/1～2/28	冬の安全運転1・2・3運動	市報掲載による広報																																																	
12/1～12/31	年末の交通事故防止運動	交通安全指導隊等による街頭指導																																																	
日 程	事 業 名	事 業 内 容																																																	
5/11～5/20	春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報・市ホームページ掲載による広報																																																	
9/21～9/30	秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報・市ホームページ掲載による広報																																																	
12/16～12/28	飲酒運転根絶広報	市役所2階電子掲示板による広報																																																	
12月下旬	飲酒運転根絶啓発チラシの作成配布	全戸配布による周知活動																																																	
12～3月 各22日	飲酒運転根絶広報	新聞掲載																																																	
成果			春季及び秋季の交通安全運動など、石巻市交通安全都市推進協議会等の関係機関・団体との連携により、交通事故防止や飲酒運転根絶、交通安全意識の高揚が図られた。また地域の実状・要望に応じ、のぼり旗や交通安全啓発看板等を設置し、12月から3月までの毎月22日には、新聞掲載による飲酒運転根絶広報など、各種広報活動を行うことにより、安全安心な交通社会への実現に寄与した。																																																
成果に係る評価			活動指標目標値の各種交通安全教室の開催84回に対し、実績は56回となっているが、交通安全指導隊による各種行事での交通安全指導や学校等での教室を開催し、警察機関及び交通安全推進機関と緊密に連携しながら、交通安全意識の高揚が図られた。 その結果、成果指標目標値の交通事故件数（R2～R4年の3年平均）221件に対し、実績は180件となっており、交通事故件数は年々減少傾向（石巻市R2：267件、R3：209件、R4：186件、R5：180件）にある。 今後は、交通安全教室が全ての幼稚園、保育所、小学校等にて実施されるように、周知を行っている。																																																
(単位：円)																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																													
	3,300,000	3,300,000	500,000			2,800,000																																													

予算科目	2 款	総務費	事業名		防犯灯普及事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
	15 目	防犯関係費		第 3 節	安心して暮らすための地域防災力などの向上			
	事業	防犯関係費		(3)	消防機能・交通安全を推進する			
担当部課		市民生活部地域協働課		実施計画掲載ページ		P 17		
目的及び事業内容		町内会等で維持管理を行っている防犯灯について、ＬＥＤ化することにより、光源の長寿命化と電気料金負担の軽減を図り、地域ぐるみの安心して暮らせるまちづくりを支援する。 また、新規設置、電気料金に対しても補助金を交付することにより町内会等の負担を軽減し、地域における防犯活動の推進を図る。						
取 組 実 績		「石巻市防犯灯維持管理等補助金交付要綱」に基づき、町内会等が維持管理運営する防犯灯の経費に対して補助を行った。 ○補助金交付実績						
		年度	補助金種別	交付件数	補助金額			
		R3	防犯灯新規設置費補助金	6件	540,000 円			
			防犯灯交換費補助金	16件	2,324,000 円			
			防犯灯電気料金補助金	115件	2,427,000 円			
			合計	137件	5,291,000 円			
		R4	防犯灯新規設置費補助金	11件	4,731,000 円			
			防犯灯交換費補助金	14件	1,618,000 円			
			防犯灯電気料金補助金	99件	2,090,000 円			
			合計	124件	8,439,000 円			
		R5	防犯灯新規設置費補助金	15件	1,272,000 円			
			防犯灯交換費補助金	11件	1,587,000 円			
			防犯灯電気料金補助金	100件	2,299,000 円			
			合計	126件	5,158,000 円			
成 果		夜間における安全性の確保、犯罪防止に寄与するほか、補助金の交付により町内会等の負担軽減が図られた。 ○補助金交付対象灯数						
		年度	補助金種別	活動指標（ＬＥＤへ交換）		年間達成率	成果指標（交換達成率）	
				目標値	実績等		目標値	実績等
		R3	防犯灯新規設置費補助金	—	9灯	—	33.4%	27.5%
			防犯灯交換費補助金	632灯	65灯	10%		
			防犯灯電気料金補助金	—	2,039灯	—		
		R4	防犯灯新規設置費補助金	—	24灯	—	35.5%	28.7%
			防犯灯交換費補助金	261灯	38灯	15%		
			防犯灯電気料金補助金	—	1,680灯	—		
		R5	防犯灯新規設置費補助金	—	16灯	—	36.7%	29.7%
			防犯灯交換費補助金	255灯	32灯	13%		
			防犯灯電気料金補助金	—	1,747灯	—		
成果に係る評価		地域における防犯活動を推進し、地域住民の安全と安心の向上を図るため、町内会等が維持管理する防犯灯のＬＥＤ化促進対策として事業を実施した。 交換費補助金交付対象灯数については、未申請の町内会等に対し、ＬＥＤへの交換の声掛けを行ったが、活動指標目標値255灯のところ実績32灯、成果指標目標値36.7%のところ実績が29.7%となっている。 全ての町内会等を交付対象とした公共性の高い事業であることから、ＬＥＤ化することによる地域の負担軽減と防犯体制の強化について、周知していくとともに、事業を継続していく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	7,000,000		5,158,000					5,158,000

予算科目	2 款	総務費	事業名		非核平和推進人材育成事業																																	
	1 項	総務管理費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																	
	25 目	諸費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																	
	事業	非核平和都市推進費		(1)	学校教育の充実を図る																																	
担当部課		総務部総務課		実施計画掲載ページ		P 90																																
目的及び事業内容			市の将来を担う小中学生を対象として、核兵器が人類に及ぼした悲惨な現実と平和の尊さを学ぶことを目的に、広島市が主催する平和記念式典への参列などを行う中学生派遣事業及び市内小中学校における原爆被爆者を講師とした被爆体験者講話を実施し、恒久平和に貢献する人材の育成を図る。																																			
取 組 実 績			1 平和記念式典等への中学生派遣事業 日 程：令和5年8月5日～7日 研 修 先：広島市 対 象 者：市内中学生（市内各中学校から1名） 17名 研修内容：平和記念式典への参列、被爆体験者講話の聴講、広島平和記念資料館の見学等 2 被爆体験者講話 市内1小学校に被爆体験者を講師として招き、自身の被爆体験、平和への思いを講話いただいた。 日 程：令和6年2月9日 場 所：石巻市立中津山第一小学校 対 象 者：同小学校5・6年生 22名																																			
成 果			市の将来を担う小中学生が、平和の尊さや戦争の悲惨さを学ぶことにより、自身が平和活動を行うことの重要性を自覚し、文化発表等で家族や友人、市民へ広く非核平和について啓発を行うなど、恒久平和に貢献できる人材の育成が図られた。																																			
			<table><tr><th rowspan="3">年度</th><th colspan="3">平和記念式典等への中学生派遣事業</th><th colspan="2">被爆体験者講話</th></tr><tr><th colspan="2">成果指標：生徒の非核平和の理解度</th><th rowspan="2">達成率等</th><th rowspan="2">講話参加人数</th><th rowspan="2">実施校</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R3</td><td colspan="3">新型コロナウイルス感染症の影響により中止</td><td>74人</td><td>住吉中学校 2学年</td></tr><tr><td>R4</td><td colspan="3"></td><td>48人</td><td>稲井中学校 2年生</td></tr><tr><td>R5</td><td>95.0%</td><td>95.7%</td><td>100.7%</td><td>22人</td><td>中津山第一小学校 5・6年生</td></tr></table>					年度	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話		成果指標：生徒の非核平和の理解度		達成率等	講話参加人数	実施校	目標値	実績値	R3	新型コロナウイルス感染症の影響により中止			74人	住吉中学校 2学年	R4				48人	稲井中学校 2年生	R5	95.0%	95.7%	100.7%	22人	中津山第一小学校 5・6年生
年度	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話																																		
	成果指標：生徒の非核平和の理解度		達成率等	講話参加人数	実施校																																	
	目標値	実績値																																				
R3	新型コロナウイルス感染症の影響により中止			74人	住吉中学校 2学年																																	
R4				48人	稲井中学校 2年生																																	
R5	95.0%	95.7%	100.7%	22人	中津山第一小学校 5・6年生																																	
成果に係る評価			平和記念式典等への中学生派遣事業を4年ぶりに実施した。各中学校では各研修生が文化祭等で研修成果を発表し、その後、研修生の発表を聴いた市内の中学生1,500名にアンケート調査を実施し、「非核平和」に対する関心や理解等に対する定量的な評価を行った。 また、市内小学生を対象に被爆体験者講話を実施し、講話を聴いた小学生22名に対しアンケート調査を行った。 アンケート調査の結果、ほとんどの児童生徒が「非核平和」に対する関心や理解が深まったと答えており、児童生徒の「非核平和」に対する意識の醸成や理解の定着を図ることができた。 今後も引き続き、広島派遣研修及び被爆体験者講話を実施し、「戦争の悲惨さ」や「平和の大切さ」をより多くの若い世代に継承する取組に加え、アンケート調査による事業の効果検証を行っていく。																																			
(単位：円)																																						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
		2,962,700	2,843,191				2,843,191																															

予算科目	2 款	総務費	事業名		東日本大震災犠牲者追悼式〔復興基金〕	
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち	
	25 目	諸費		第 6 節	未来につなぐ震災伝承の推進	
	事業	東日本大震災犠牲者追悼式関係費		(1)	震災伝承を推進する	
担当部課		総務部震災伝承推進室	実施計画掲載ページ		P 21	
目的及び事業内容		震災で犠牲になられた方々に対し、哀悼の意を捧げるため、市主催の追悼式（式典）を開催する。また、各総合支所にも献花台を設置し、一般の参列者の献花を受け付ける。				
取 組 実 績		石巻市慰霊碑を本会場として追悼式典を開催したほか、市内6か所に祭壇及び献花台を設置し、本会場とともに献花を受け付けた。 東日本大震災石巻市追悼式 1 日時 令和6年3月11日（月）式典：午後2時40分～ 献花：午前8時30分～午後5時 2 場所 石巻市慰霊碑ほか市内6か所 3 概要 (1) 石巻市慰霊碑（石巻南浜津波復興祈念公園内）において、追悼式典を開催した。 (2) 石巻市慰霊碑及び市内6か所の各献花場（祭壇及び献花台を設置）において、献花を受け付けた。 (3) 復興副大臣、衆議院議員、宮城県知事及び石巻市議会議長から追悼の辞をいただいた。 (4) 遺族代表者の献花に引き続き、市長及び来賓者の献花を行った。 (5) 本会場では、追悼式典開催時間の前後に一般参列者の献花を受け付け、式典開催中は、本会場に別途、献花台を設け献花を受け付けた。 (6) 追悼のサイレンを低音階のサイレンに変更した。				
成 果		石巻市慰霊碑（石巻南浜津波復興祈念公園内）を本会場として市主催の追悼式を実施することにより、震災で犠牲になられた方々に対し、深く哀悼の意を捧げることができた。 〈献花者数〉 本会場 石巻市慰霊碑 708 人 献花場 河北総合センター 67 人 雄勝総合支所 126 人 遊楽館 112 人 桃生総合支所 133 人 北上総合支所 140 人 牡鹿保健福祉センター 141 人 計 1,427 人				
成果に係る評価		東日本大震災により、3,000人を超える尊い命が奪われ、未だ多数の方々が行方不明となっている。震災で犠牲になられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、夢や希望の持てる新しい石巻市の復興、再生、発展を遂げていく決意を示すため、市主催の追悼式を今後も継続して開催する必要がある。追悼のサイレンを低音階のサイレンに変更したことで、多くの市民の心に寄り添うことができた。来年度以降も低音階のサイレンによる吹鳴を継続したい。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	5,035,000	4,830,870			4,830,870	

予算科目	2 款	総務費	事業名		震災伝承事業〔復興基金〕																																		
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																		
	25 目	諸費		第 6 節	未来につなぐ震災伝承の推進																																		
	事業	震災伝承関係費		(1)	震災伝承を推進する																																		
担当部課		総務部震災伝承推進室		実施計画掲載ページ		P21																																	
目的及び事業内容			東日本大震災の事象と教訓、復旧・復興への思いを後世に伝えるため、「震災遺構門脇小学校」及び「震災遺構大川小学校」を運営・活用し、震災伝承に関する事業を推進する。																																				
取 組 実 績			1 震災遺構施設の運営 震災遺構への来訪者増加に向け、指定管理者や伝承関係団体との連携による「語り部の話を聞く会」や「ツナミリアル」などの防災教育プログラムの実施、県内小・中学校、高校の防災学習招致事業、夏休み期間には子ども向け防災学習行事など各種事業を行い、また、令和6年3月11日には夜間特別開館やライトアップなど、来訪者の増加に努め、震災遺構門脇小学校で前年比7,149人増の46,106人、震災遺構大川小学校で前年比6,075人増の83,638人、合計で13,224人増の129,744人となった。 2 震災伝承支援事業の実施 震災伝承関係団体との連携事業として、令和6年1月28日に「石巻防災・震災伝承のつどい」を開催したところ、約600名の参集を得ることができ、市内で活動する防災・震災伝承関係団体の連携を深めるとともに、防災・震災伝承の活動について市民に伝えることができた。 3 震災遺構門脇小学校展示図録の作成 震災遺構門脇小学校の公開の意義や展示理解を促し又は補完することにより、震災からの学びを深く知るための解説書として作成した。																																				
成 果			1 震災遺構の来訪者の状況 【震災遺構門脇小学校 令和4年4月3日公開開始】 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">成果指標</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績</th></tr><tr><td>R4</td><td>58,000人</td><td>38,957人</td><td>67.17%</td></tr><tr><td>R5</td><td>58,000人</td><td>46,106人</td><td>79.49%</td></tr></table> 【震災遺構大川小学校 令和3年7月18日公開開始】 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">成果指標</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績</th></tr><tr><td>R3</td><td>45,000人</td><td>49,245人</td><td>109.43%</td></tr><tr><td>R4</td><td>80,000人</td><td>77,563人</td><td>96.95%</td></tr><tr><td>R5</td><td>80,000人</td><td>83,638人</td><td>104.55%</td></tr></table> 2 震災遺構門脇小学校展示図録の作成 ・発行部数 3,000部（うち約150部は関係機関等へ寄贈、約2,850部は販売） ・ページ数 68ページ（全ページフルカラー）					年度	成果指標		達成率	目標値	実績	R4	58,000人	38,957人	67.17%	R5	58,000人	46,106人	79.49%	年度	成果指標		達成率	目標値	実績	R3	45,000人	49,245人	109.43%	R4	80,000人	77,563人	96.95%	R5	80,000人	83,638人	104.55%
年度	成果指標		達成率																																				
	目標値	実績																																					
R4	58,000人	38,957人	67.17%																																				
R5	58,000人	46,106人	79.49%																																				
年度	成果指標		達成率																																				
	目標値	実績																																					
R3	45,000人	49,245人	109.43%																																				
R4	80,000人	77,563人	96.95%																																				
R5	80,000人	83,638人	104.55%																																				
成果に係る評価			震災遺構への来訪者については、新型コロナウイルス感染症による影響もあり伸び悩んでいたが、指定管理者や関係機関等と連携したイベント等の各種事業の実施により、来訪者の増加に努めた。今後も震災における経験や教訓を伝え続けるためには、2つの震災遺構を活用し、伝承活動団体等と連携した取り組みを行うことが重要であり、次世代の伝承活動の担い手の育成を図っていくためにも、事業を継続する必要がある。																																				
（単位：円）																																							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																		
					国（県）支出金	地方債	その他																																
	54,379,000		53,178,351				51,648,932																																
							一般財源																																
							1,529,419																																

予算科目	2 款	総務費	事業名		窓口業務民間委託事業																																									
	3 項	戸籍住民基本台帳費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち																																									
	1 目	戸籍住民基本台帳費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進																																									
	事業	窓口証明関係費		(4)	市民サービスの利便性の向上を図る																																									
担当部課		市民生活部市民課	実施計画掲載ページ		P 107																																									
目的及び事業内容		1 目的 市民課窓口業務の一部を専門知識を有する民間業者に委託することにより、窓口業務の効率化及び市民サービスの向上を図る。 2 事業内容 (1) 証明書発行業務 (2) 印鑑登録 (3) 住基異動入力業務 (4) 個人番号カード関係業務 (5) フロア案内業務 (6) 電話対応業務																																												
取 組 実 績		石巻市市民課窓口業務民間委託事業 1 委託先： ㈱NTTネクシア 東北支店 2 委託期間： 令和4年8月1日～令和7年7月31日 3年間 3 委託料： 令和5年度 56,100,000円（総額：168,300,000円） 4 委託業務内容及び取扱件数 <table><tr><th>項 目</th><th>窓口 通数(件数)</th><th>公用 通数</th><th>郵便 通数</th><th>合計 通数(件数)</th></tr><tr><td>証明書発行業務</td><td>38,519</td><td>18,734</td><td>21,270</td><td>78,523</td></tr><tr><td>印鑑登録</td><td>2,062</td><td></td><td></td><td>2,062</td></tr><tr><td>住基異動入力業務</td><td>6,033</td><td></td><td></td><td>6,033</td></tr><tr><td>個人番号カード関係業務</td><td>4,973</td><td></td><td></td><td>4,973</td></tr><tr><td>フロア案内業務</td><td>7,545</td><td></td><td></td><td>7,545</td></tr><tr><td>電話対応業務</td><td>6,547</td><td></td><td></td><td>6,547</td></tr><tr><td>合 計</td><td>65,679</td><td>18,734</td><td>21,270</td><td>105,683</td></tr></table> ※個人番号カード関係業務は個人番号カード券面記載事項変更・電子証明書更新・暗証番号再設定					項 目	窓口 通数(件数)	公用 通数	郵便 通数	合計 通数(件数)	証明書発行業務	38,519	18,734	21,270	78,523	印鑑登録	2,062			2,062	住基異動入力業務	6,033			6,033	個人番号カード関係業務	4,973			4,973	フロア案内業務	7,545			7,545	電話対応業務	6,547			6,547	合 計	65,679	18,734	21,270	105,683
項 目	窓口 通数(件数)	公用 通数	郵便 通数	合計 通数(件数)																																										
証明書発行業務	38,519	18,734	21,270	78,523																																										
印鑑登録	2,062			2,062																																										
住基異動入力業務	6,033			6,033																																										
個人番号カード関係業務	4,973			4,973																																										
フロア案内業務	7,545			7,545																																										
電話対応業務	6,547			6,547																																										
合 計	65,679	18,734	21,270	105,683																																										
成 果		民間委託により、専門知識を有する人材が常に確保されていることから、人事異動や繁忙期においても常に安定した窓口サービスを提供できた。また、民間事業者職員の窓口業務に関するスキルや接遇の向上により、窓口サービスの質の維持向上が図られた。 窓口業務アンケート調査結果（令和5年度） 実施回数：1回（令和6年2月5日～令和6年3月14日） 調査件数：150件 アンケート項目と結果 <table><tr><td>挨拶/返事</td><td>良い・やや良い</td><td>85.3%</td><td>普通</td><td>14.7%</td><td>やや悪い</td><td>0%</td></tr><tr><td>わかりやすい説明</td><td>わかりやすい ややわかりやすい</td><td>87.3%</td><td>普通</td><td>12.7%</td><td>ややわかりにくい わかりにくい</td><td>0%</td></tr><tr><td>言葉遣い/態度</td><td>良い・やや良い</td><td>86.0%</td><td>普通</td><td>13.3%</td><td>やや悪い</td><td>0.7%</td></tr><tr><td>所要時間</td><td>10分未満・20分未満</td><td>84.0%</td><td>30分未満</td><td>8.7%</td><td>1時間未満</td><td>7.3%</td></tr><tr><td>総合満足度</td><td>満足・やや満足</td><td>85.3%</td><td>普通</td><td>14.0%</td><td>やや不満</td><td>0.7%</td></tr></table>					挨拶/返事	良い・やや良い	85.3%	普通	14.7%	やや悪い	0%	わかりやすい説明	わかりやすい ややわかりやすい	87.3%	普通	12.7%	ややわかりにくい わかりにくい	0%	言葉遣い/態度	良い・やや良い	86.0%	普通	13.3%	やや悪い	0.7%	所要時間	10分未満・20分未満	84.0%	30分未満	8.7%	1時間未満	7.3%	総合満足度	満足・やや満足	85.3%	普通	14.0%	やや不満	0.7%					
挨拶/返事	良い・やや良い	85.3%	普通	14.7%	やや悪い	0%																																								
わかりやすい説明	わかりやすい ややわかりやすい	87.3%	普通	12.7%	ややわかりにくい わかりにくい	0%																																								
言葉遣い/態度	良い・やや良い	86.0%	普通	13.3%	やや悪い	0.7%																																								
所要時間	10分未満・20分未満	84.0%	30分未満	8.7%	1時間未満	7.3%																																								
総合満足度	満足・やや満足	85.3%	普通	14.0%	やや不満	0.7%																																								
成果に係る評価		毎年、委託事業者に窓口業務アンケートを依頼し、その結果を基により良い対応ができるよう委託事業者と連携して事務改善につなげており、令和5年度もすべての項目で8割以上の高評価を得られた。 コンビニ交付サービスの普及により、証明書発行等の窓口業務は減少傾向にあるものの、フロア案内や電話対応業務が増大している状況を鑑み、今後も質の高い窓口サービスの提供に努めていく。																																												
(単位：円)																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	56,100,000	56,100,000				56,100,000																																								